

第2章 WebGIS を利用した情報提供サイトの試作と有効性の検証

本章では、情報提供サイトについて WebGIS 機能や情報検索機能を活用して情報発信を行うことを前提として、必要要件の整理、追加機能の試作、本格運用に向けた課題の整理等を行った。

2.1 WebGIS システムの試作

2.1.1 WebGIS システムのコンセプト及び構築方針

WebGIS システムの構築方針については、平成 27 年度業務において、情報発信サイトの拡張の段階を 3 段階に想定し、1 段階ずつ確実に実施し、発展的に構築していくこととした。一方、本業務において、各国の情報発信の現状を調査検討する中で、情報発信サイトの基本コンセプトを拡張する必要があると考えられた（第 3 章参照）。これを踏まえて改訂した WebGIS システムの構築方針を図 2.1-1 に示した。

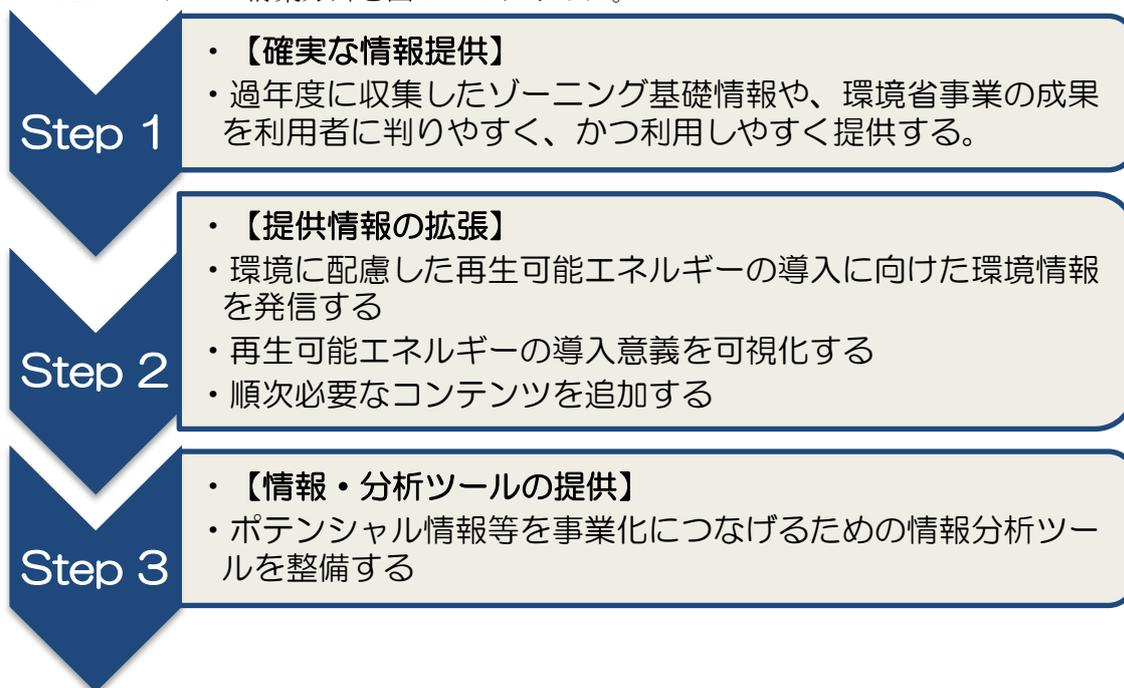


図 2.1-1 WebGIS システムの構築方針（平成 29 年度改訂）

2.1.2 WebGIS システム（試作）動作環境の整備

（１）ハードウェア

新規ハードウェアの購入にはコストや時間がかかるため、クラウドサービスを利用し仮想的なハードウェア環境を準備した。クラウド基盤は、アジア航測㈱が所有している環境を利用した。なお、試作中のシステムは、環境省、外部アドバイザーや共同実施者が閲覧できるように、認証機能を用い限定的に公開した。

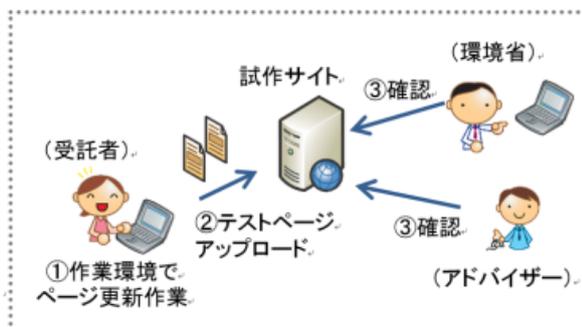


図 2.1-2 WebGIS システム試作の作業イメージ

（２）ソフトウェア

環境省と協議の結果、WebGIS の基盤は、環境省総合環境政策局環境影響評価課が管理・運営を行っている「環境アセスメントデータベース（以下、EADAS という。）」を利用することを想定した。EADAS のソフトウェア環境を表 2.1-1 に示した。このソフトウェア環境を、表 2.1-2、2.1-3 の通りに、クラウド基盤に準備した試作環境に整備した。

表 2.1-1 EADAS のソフトウェア環境

種別	名称・バージョン	備考
OS	Windows Server 2012	
データベース	Microsoft SQL Server	データベース管理機能
GIS ソフトウェア	ArcGIS Server	GIS 機能
その他ライブラリ	Fess	全文検索機能

表 2.1-2 クラウド基盤の試作サーバ（Web）

種別	名称・バージョン	備考
OS	Windows Server 2012	
WWW サーバ	IIS 8.5	

表 2.1-3 クラウド基盤の試作サーバ（GIS）

種別	名称・バージョン	備考
OS	Windows Server 2012	
データベース	Microsoft SQL Server	データベース管理機能
GIS ソフトウェア	ArcGIS Server	GIS 機能

2.1.3 WebGIS システムの試作

(1) 試作システムの構成

2.1.2 (2) に示した通り、WebGIS の基盤として EADAS の活用を想定したため、システムはそれを踏まえて構成した。図 2.1-3(1)に EADAS のシステム構成概略を示した。ここでは、物理基盤とソフトウェア基盤を合わせて「システム基盤」と呼称し、ミドルウェアに含まれるデータベースや ArcGIS Server を「EADAS 基盤」と呼称した。



図 2.1-3(1) EADAS システム構成概略

試作するシステムは、以下「再エネ情報提供システム」という。基本的な考え方は次の通りとした。

- a. 過年度業務で整備してきた全国的な GIS データは、EADAS のデータベースに登録するため、EADAS の地図機能から閲覧可能とする。
- b. EADAS のデータベースに登録した GIS データは、再エネ情報提供システムからも閲覧可能とする。
- c. 再エネ情報提供システムでは、再エネ情報提供に特有の機能を実現する。
- d. 実績調査結果のような再エネ情報提供に特有のデータと、賦存量・導入ポテンシャルのデータは、再エネ情報提供システムからも閲覧可能とする。

これらの基本的な考え方にに基づき、再エネ情報提供システムを図 2.1-3(2)に示した概念図の通りに構成した。

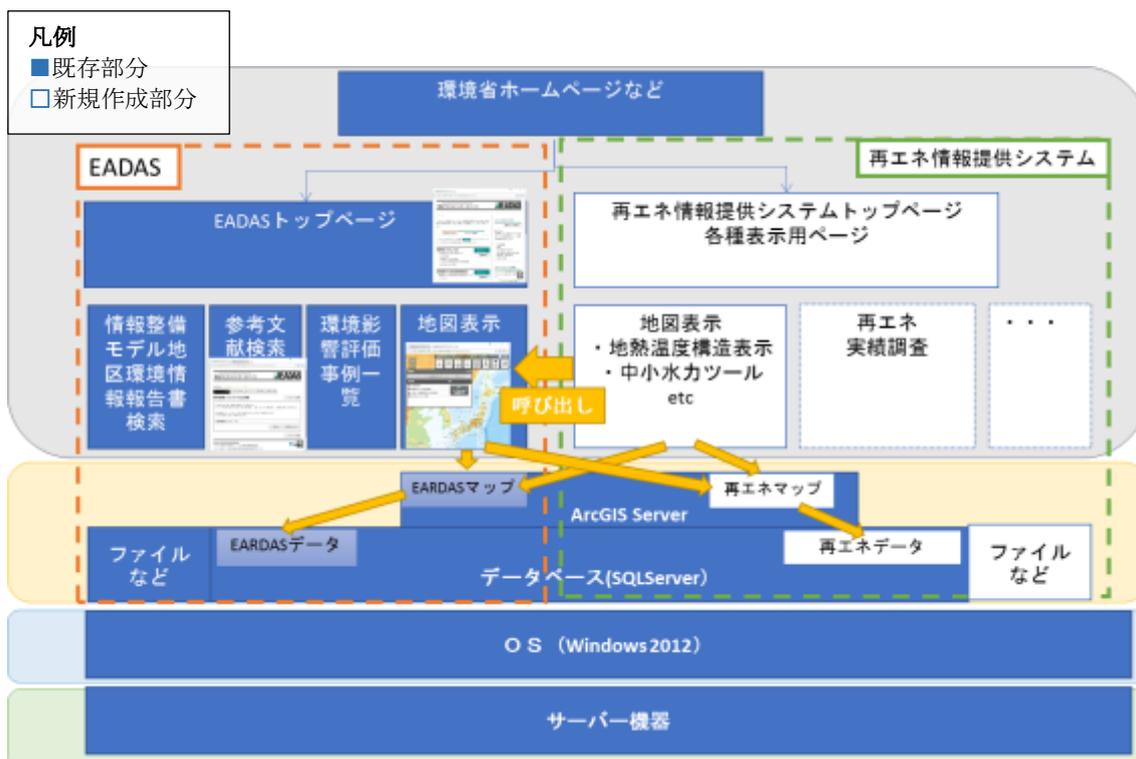


図 2.1-3(2) EADAS 基盤を利用した再エネ情報提供システムの搭載

(2) 試作システムの設計

1) 画面一覧

再エネ情報提供システムで作成した画面とそれぞれの概要を、表 2.1-4 に示した。

表 2.1-4 画面一覧と各画面の概要

No	ページ名	概要
1	トップページ	
2	メガメニュー	各画面でメガメニューを表示した時の画面イメージ
3	エネルギー種別情報	ポテンシャル調査結果をエネルギー毎に表示する。
4	概要とデータの利活用方法 (太陽光)	太陽光の概要とデータ利活用方法を表示する。
5	概要とデータの利活用方法 (風力)	風力の概要とデータ利活用方法を表示する。
6	概要とデータの利活用方法 (中小水力)	中小水力の概要とデータ利活用方法を表示する。
7	概要とデータの利活用方法 (地熱)	地熱の概要とデータ利活用方法を表示する。
8	概要とデータの利活用方法 (地中熱)	地中熱の概要とデータ利活用方法を表示する。
9	概要とデータの利活用方法 (太陽熱)	太陽熱の概要とデータ利活用方法を表示する。
10	GIS 画面 (太陽光)	太陽光のデータを GIS 画面に表示する。
11	GIS 画面 (風力)	風力のデータを GIS 画面に表示する。

No	ページ名	概要
12	風配図	GIS 画面で選択した地点の風配図を表示する。
13	GIS 画面（中小水力）	中小水力のデータを GIS 画面に表示する。
14	GIS 画面（地熱）	地熱のデータを GIS 画面に表示する。
15	地熱資源分布図	GIS 画面で選択した地点の地熱資源分布図を表示する。
16	GIS 画面（地中熱）	地中熱のデータを GIS 画面に表示する。
17	GIS 画面（太陽熱）	太陽熱のデータを GIS 画面に表示する。
18	GIS 画面（都道府県） 導入実績・自治体情報	地域の再エネ情報の導入実績の結果を、都道府県別に GIS 上で表示する。
19	GIS 画面（市町村） 導入実績・自治体情報	地域の再エネ情報の導入実績の結果を、市町村別に GIS 上で表示する。
20	分析ツール（中小水力分析ツール）	中小水力分析ツールをダウンロードする。
21	ダウンロード（ポテンシャル）	各ポテンシャルのデータダウンロードページ
22	ダウンロード（ゾーニング）	ゾーニング基礎情報に係るデータダウンロードページ
23	ダウンロード（資源量）	資源量に係るデータダウンロードページ
24	ダウンロード（報告書）	ゾーニング基礎情報の調査報告書をダウンロードする。
25	はじめに	本サイトの目的と概要、データ取扱い上の留意点を表示する。
26	用語の解説	本サイトで利用している用語の解説集
27	データ取扱いの留意点	本データの取扱い上の留意点や引用時の留意点を示す
28	過去のお知らせ	過去の新着情報やトピックスを一覧する
29	ご意見・お問合せ	本サイトに対する連絡先を表示する

2) 画面遷移

表 2.1-4 に示した各画面間の移動の関係を示した画面遷移図を、巻末資料 1 に示した。

3) 画面構成

表 2.1-4 に示した各画面の画面構成を、図 2.1-4～2.1-28 に示した。各画面は、レスポンス対応とし、画面幅の小さいスマートフォンやタブレットで表示した際には、自動的に“スマートフォン・タブレット用”画面に切り替わって表示されるようにした。



図 2.1-4(1) トップページ（通常表示）



図 2.1-4(2) トップページ (スマートフォン・タブレット)

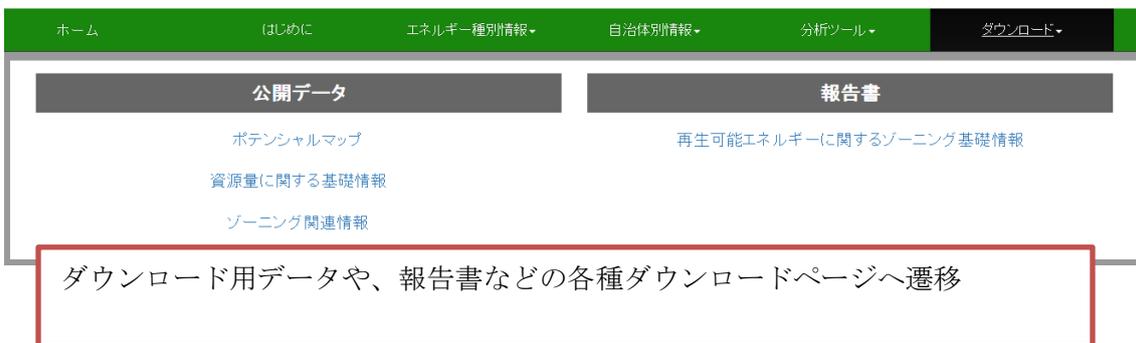
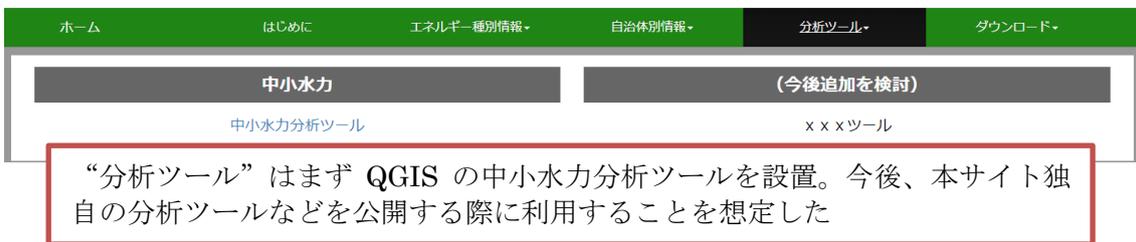


図 2.1-5(1) メガメニュー（通常表示）

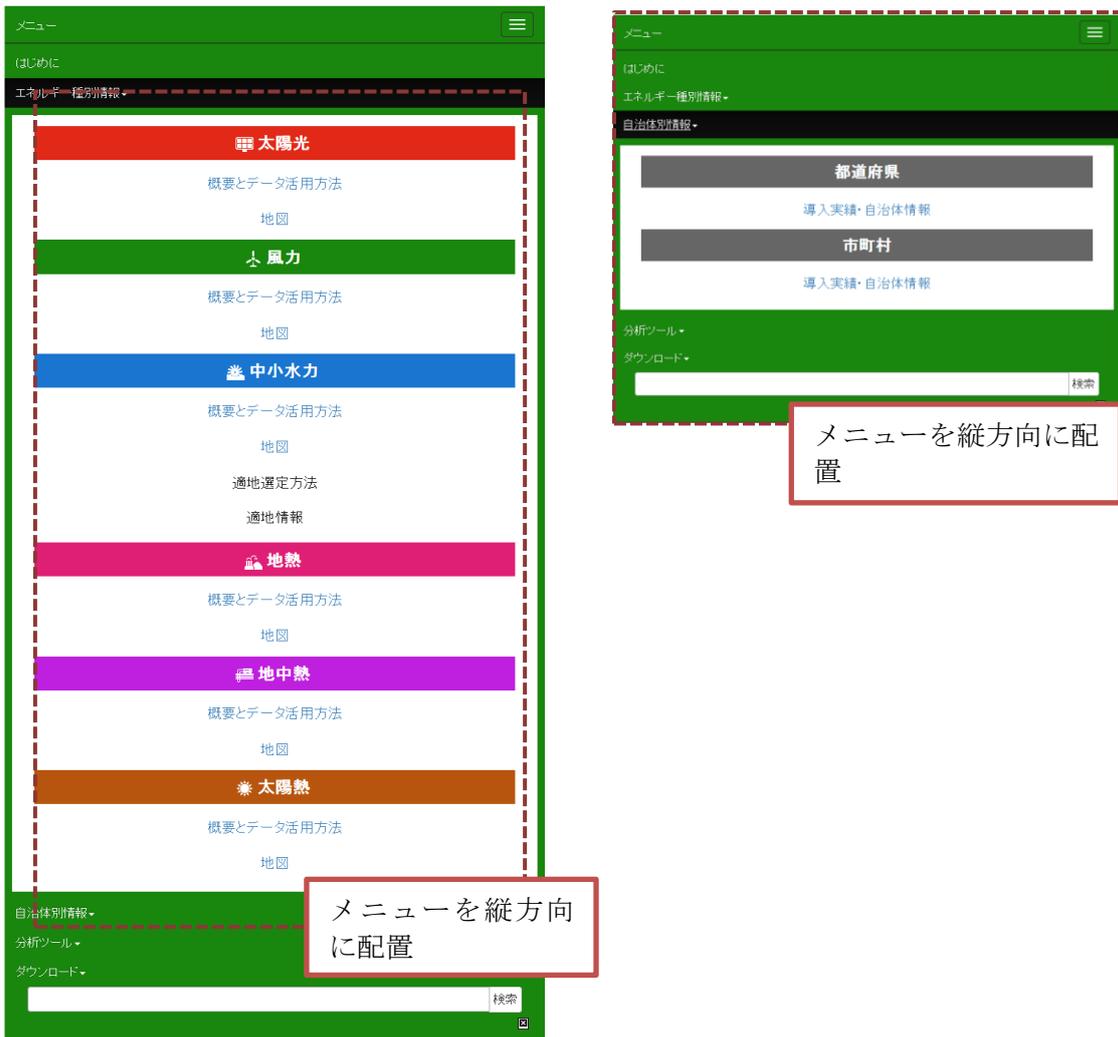


図 2.1-5 (2) メガメニュー（スマートフォン・タブレット表示）

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム | はじめに | エネルギー種別情報 | 自治体別情報 | 分析ツール | ダウンロード

ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽光 > 概要とデータ活用方法

太陽光
概要とデータ活用方法
地図

住宅用等の太陽光の導入ポテンシャル、シナリオ別導入可能量の分布図を閲覧することができます。
▼概要 | ▼データの活用方法

結果の概要

■太陽光のポテンシャル推計について
推計の基礎データは、「住宅用等」カテゴリは住宅地図（一部人口密度から補完）を、その他のカテゴリは基本的に統計データを使用しています。
導入ポテンシャルは、太陽光パネルの設置しやすさに関して「レベル」という概念を用い、サンプル図面を基に、各カテゴリレベルに対する設置係数を設定し、設置可能面積を算出して推計しました。
詳細はこちらをご覧ください。

都道府県
都道府県

導入ポテンシャル (レベル3) の都道府県別分布状況を表示。都道府県内の、市町村表示が可能。

新潟県
レベル1 145
レベル2 413
レベル3 543

グラフにカーソルを合わせると、値をポップアップ

都道府県	設置容量(万kw)		年間発電電力量(億kWh)	
	導入ポテンシャル	導入ポテンシャル	導入ポテンシャル	導入ポテンシャル
北海道	287	30	81	7
青森県	93	9	99	10
岩手県	87	9	230	24
宮城県	130	13	217	23
秋田県	74	7	72	8
山形県	72	7	67	7
福島県	131	14	36	3
茨城県	205	22	42	4
栃木県	132	14	132	14
群馬県	134	15	143	16
埼玉県	289	29	96	10
千葉県	284	30	47	5
東京都	310	31	65	7
神奈川県	270	28	62	6
新潟県	145	14	47	4
富山県	70	7	229	23
石川県	67	7	54	5
福井県	55	5	78	7
山梨県	55	6	96	9
長野県	147	15	71	7
岐阜県	121	14	70	8
静岡県	216	24	101	11
愛知県	326	36	49	5
三重県	119	13		

上記グラフに対する、結果を表で表示

データの利活用方法

■エネルギー固有の留意点があれば記載

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-6(1) 概要とデータの利活用方法（太陽光）（通常表示）

再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー個別情報 > 太陽光 > 結果データの活用方法

太陽光

住宅同等の太陽光の購入ポテンシャル、シナリオ別購入可能量の分布図を閲覧することができます。

▼結果 | ▼データの活用方法

結果の概要

■ 太陽光のポテンシャル推計について

推計の基礎データは、「住宅同等のポテンシャルは住宅地図(一部人口密度から算出)を、その他のポテンシャルは過去の日照データを参照して算出、購入ポテンシャルは、太陽光のポテンシャル(ポテンシャル)に基づき推計して算出した結果を算出、マップ画面に表示し、各ポテンシャルレベルに対する設置可能容量を、設置可能容量を算出して表示しました。

※設置可能容量は、設置可能容量の約半分です。

※設置可能容量は、設置可能容量の約半分です。

設置可能容量
設置可能容量

設置可能容量	購入ポテンシャル
北海道	287
青森県	10
岩手県	10
宮城県	130
秋田県	24
山形県	22
福島県	131
茨城県	265
栃木県	132
群馬県	134
埼玉県	289
千葉県	284
東京都	310
神奈川県	270
新潟県	145
富山県	70
石川県	67
福井県	55
山梨県	55
長野県	147
岐阜県	137
静岡県	276
愛知県	130
三重県	119
滋賀県	81
京都府	99
大阪府	230
兵庫県	217
奈良県	72
和歌山県	67
徳島県	35
高知県	42
岡山県	132
広島県	143
山口県	95
愛媛県	67
香川県	46
高松市	52
高松市	47
愛知県	229
岐阜県	54
岐阜県	78
岐阜県	96
大分県	71
宮崎県	70
鹿児島県	161
沖縄県	49

データの活用方法

■ エネルギー固有の留意点があれば記載

■

太陽光

結果データ活用方法
結果

再生可能エネルギー情報提供システム

- ・エネルギーの目的別検索
- ・用途別検索
- ・エネルギー固有の留意点
- ・過去のデータ検索
- ・ご意見の受付

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-6(2) 概要とデータの利活用方法 (太陽光) (スマートフォン・タブレット)

再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー種別検索 > 風力 > 概要とデータ利活用方法

風力

全国の風況マップ、風力の統計量、導入ポテンシャル、シナリオ別導入可能量、風力の導入に際して制約となる可能性のある法規制等の「二重チェック」機能等の活用方法を閲覧することができます。

▼概要 | ▼データの利活用方法

結果の概要

■陸上風力のポテンシャル推計について
風況データは環境省公開の風況マップを用い、基本となる導入ポテンシャルは、統計量マップに基いて自然条件(併存障害、最大傾斜角等)と社会条件(併存障害等、居住地域からの距離等)を兼ね合わせ、開発不可条件に該当するエリアを除外することで推計しました。詳細は「リンク先」をご覧ください。

前送条件
前送条件▼

和歌山県

5.5~6.0m/s	989.38
6.0~6.5m/s	609.22
6.5~7.0m/s	235.79
7.0~7.5m/s	34.27

グラフにカーソルを合わせると、値をポップアップ

都道府県	設置容量(CJkW)	年間発電電力量(億kWh)	設置容量(CJkW)	設置容量(CJkW)	年間発電電力量(億kWh)
北海道	15,193	3,654	宮城県	199	51
青森県	1,511	390	茨城県	240	56
岩手県	1,713	425	大分県	31	7
宮城県	356	95	兵庫県	287	64
秋田県	1,164	293	奈良県	139	32
山形県	709	165	新潟県	210	48
福島県	1,094	300	高知県	90	18
茨城県	120	27	山梨県	186	43
栃木県	53	14	岡山県	118	26
群馬県	46	9	広島県	229	51
埼玉県	4	1	山口県	206	49
千葉県	68	18	徳島県	95	22
東京都	61	21	香川県	31	6
神奈川県	11	2	愛媛県	154	34
新潟県	314	62	高知県	217	49
富山県	35	6	福岡県	46	9
石川県	303	43	佐賀県	55	11
福井県	136	30	長崎県	229	56
山梨県	6	1	熊本県	276	56
長野県	147	29	大分県	140	31
岐阜県	249	53	宮崎県	295	56
静岡県	217	55	鹿児島県	643	157
愛知県	163	41	沖縄県	439	114
三重県	327	84			

上記グラフの結果を表形式でまとめた。

■洋上風力のポテンシャル推計について
風況データは環境省公開の風況マップを用い、洋上風力の基本となる導入ポテンシャルは、統計量マップに基いて自然条件(併存障害、水深等)と社会条件(併存障害等)を兼ね合わせ、開発不可条件に該当するエリアを除外することで推計しました。詳細は「リンク先」をご覧ください。

都道府県	設置容量(CJkW)		年間発電電力量(億kWh)						
	固定式	浮体式	固定式	浮体式					
北海道	12,927	27,000	3,365	7,464	固定式	407	2,616	96	580
東北	5,298	16,230	1,232	4,077	固定式	330	11,897	67	2,638
関東	3,685	4,873	875	1,287	固定式	902	3,739	197	879
中部	225	4,094	47	867	九州	5,255	38,654	1,142	6,997
中国	2,013	1,964	404	960	沖縄	2,199	5,230	511	1,302

上記グラフの結果を表形式でまとめた。

データの利活用方法

■エネルギー固有の留意点があれば記載

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 自治体の検索 | ご意見・お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-7(1) 概要とデータの利活用方法 (風力) (通常表示)

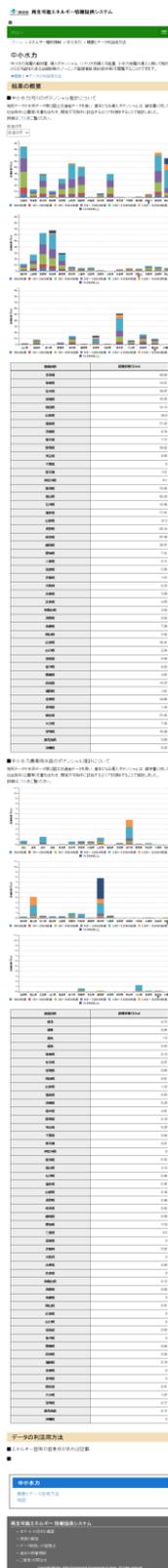


図 2.1-8(2) 概要とデータの利活用方法 (中小水力) (スマートフォン・タブレット)

再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー種別情報 > 地熱 > 概要とデータ活用方法

地熱

全国の地熱資源の分布、地熱発電の発電量、導入ポテンシャル、シナリオ別導入可能量を閲覧することができます。

▼ 概要 | ▼ データの活用方法

結果の概要

■ 地熱のポテンシャル推計について

地熱資源量調査分回ごとの地熱資源量調査のデータを用い、基本となる導入ポテンシャルは、発電量に付随しては条件（広域、土地利用区分等）を異なるが、開発不可条件に該当するエリアを除外することで行っています。

詳細は、下記をご覧ください。

都道府県
都道府県

都道府県	発電可能容量(CMW)		
	2030年ポテンシャル	2050年ポテンシャル	2070年ポテンシャル
北海道	194	12	22
青森県	169	4	12
岩手県	145	3	8
宮城県	0	0	0
秋田県	16	1	2
山形県	25	1	2
福島県	32	1	2
茨城県	0	0	0
栃木県	0	0	0
群馬県	77	5	11
埼玉県	0	0	0
千葉県	0	0	0
東京都	1	0	0
神奈川県	5	0	0
新潟県	36	20	24
富山県	0	0	0
石川県	0	0	0
福井県	0	0	0
山梨県	0	0	0
長野県	47	5	10
岐阜県	4	0	1
静岡県	8	2	3
愛知県	0	0	0
三重県	0	0	0
滋賀県	0	0	0
京都府	0	0	0
大阪府	0	0	0
兵庫県	0	0	0
奈良県	0	0	0
和歌山県	0	0	0
徳島県	0	0	0
高松県	0	0	0
岡山県	0	0	0
広島県	0	0	0
山口県	0	0	0
香川県	0	0	0
愛媛県	0	0	0
高知県	0	0	0
福岡県	0	0	0
佐賀県	0	0	0
大分県	15	1	1
熊本県	75	4	8
宮崎県	22	1	1
鹿児島県	44	1	3
沖縄県	0	0	0

データの活用方法

■ エネルギー固有の検索条件があれば記載

■

地熱

概要とデータ活用方法

地図

再生可能エネルギー情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・検索と絞り
- ・データ取得、応答方法
- ・過去の検索履歴
- ・ご意見・お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-9(2) 概要とデータの活用方法（地熱）（スマートフォン・タブレット）

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー種別情報 > 地中熱 > 概要とデータ活用方法

地中熱
地中熱の導入ポテンシャル、シナリオ別導入可能量の分布回、地中熱の導入に際して制約となる可能性のある法規制等を閲覧することができます。

▼概要 | ▼データの活用方法

結果の概要

■地中熱のポテンシャル推計について
推計の基データは大層気不同して、導入ポテンシャルは、採熱可能面積や地質ごとの採熱率等を設定し、500mメッシュ単位の地中熱利用の利
【詳細はこちらをご覧ください。】
詳細はこちらをご覧ください。

都道府県別
都道府県

都道府県別の導入ポテンシャル。

滋賀県
合計 177.07

グラフにカーソルを合わせると、値をポップアップ

都道府県	導入容量(PJ)	都道府県	導入容量(PJ)
北海道	207.73	茨城県	69
青森県	68.89	宮城県	119.47
岩手県	79.94	大分県	261.88
宮城県	111.15	兵庫県	176.35
秋田県	69.41	奈良県	70.87
山形県	79.01	和歌山県	44.92
福島県	110.66	鳥取県	32.19
茨城県	164.45	徳島県	39.19
栃木県	108.53	岡山県	79.88
群馬県	114.94	広島県	108.65
埼玉県	247.29	山口県	66.48
千葉県	184.46	徳島県	39.35
東京都	284.94	香川県	66.49
神奈川県	195.25	愛媛県	67.46
新潟県	129.32	高知県	31.57
富山県	87.21	福岡県	189.98
石川県	64.94	佐賀県	46.07
福井県	53.27	長崎県	57.52
山梨県	54.7	熊本県	89.02
長野県	145.9	大分県	50.9
岐阜県	152.47	宮崎県	50.74
静岡県	140	鹿児島県	64.37
愛知県	279.05	沖縄県	28.29
三重県	91.84		

上記グラフに対する、結果を表で表示

データの活用方法

- エネルギー固有の留意点があれば記載
-

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的・概要 | 用語の解説 | データ取得の留意点 | 過去の動向情報 | ご意見・お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-10(1) 概要とデータの活用方法（地中熱）（通常表示）

再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー情報提供 > 地中熱 > 地中熱のデータ活用方法

地中熱

地中熱の潜在エネルギーを、シミュレーションによる地中熱の分布図、地中熱の購入に際して有効となる可能
性のある設備等を確認することができます。

▼概要 | ▼データの活用方法

結果の概要

■地中熱のポテンシャル推計について
 地中熱のポテンシャルは、シミュレーションによる地中熱の分布図、地中熱の購入に際して有効となる可能
 性のある設備等を確認することができます。

※詳細は「データの活用方法」をご覧ください。

※詳細は「データの活用方法」をご覧ください。

※詳細は「データの活用方法」をご覧ください。

※詳細は「データの活用方法」をご覧ください。

※詳細は「データの活用方法」をご覧ください。

地域別	設備容量合計
北海道	287.73
東北	63.88
関東甲信越	73.94
中部	111.15
近畿	63.41
中国	79.01
四国	115.66
沖縄	162.45
海外	103.03
計	114.24
北海道	247.29
東北	106.46
関東甲信越	234.94
中部	158.25
近畿	126.32
中国	87.21
四国	64.94
沖縄	137.17
海外	147.1
計	143.1
北海道	112.27
東北	140
関東甲信越	275.05
中部	31.94
近畿	98
中国	113.47
四国	261.88
沖縄	136.36
海外	79.01
計	117.02
北海道	11.73
東北	39.15
関東甲信越	79.01
中部	108.65
近畿	66.88
中国	26.26
四国	66.88
沖縄	67.46
海外	31.27
計	109.96
北海道	46.07
東北	17.62
関東甲信越	89.02
中部	16.9
近畿	30.74
中国	64.37
四国	29.29

データの活用方法

■エネルギー固有の留意点があれば記載

■

地中熱
 概要とデータ活用方法
 地図

再生可能エネルギー情報提供システム
 ・本サイトの目的・趣旨
 ・関係機関
 ・お問い合わせ先
 ・お問い合わせ先
 ・お問い合わせ先
 ・お問い合わせ先
 Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-10(2) 概要とデータの活用方法（地中熱）（スマートフォン・タブレット）

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム (はじめに) エネルギー種別情報 地域再生情報 分析ツール ダウンロード

ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽熱 > 概要とデータ活用方法

太陽熱
概要とデータ活用方法
地図

太陽熱
住宅用等の太陽光の導入ポテンシャルの分布図を閲覧することができます。
▼概要 | ▼データの利活用方法

結果の概要

■太陽熱のポテンシャル推計について
推計の基となる太陽光の導入ポテンシャルは建物区分ごとに設置部数と約1.500mm²/棟位の太陽熱の利用可能熱量と太陽熱利用量を算出し比較し、より小さい推計結果を採用しました。
詳細はこちらをご覧ください。

都道府県
都道府県

鳥取

レベル1	27.54
レベル2	30.96
レベル3	31.48

グラフにカーソルを合わせると、値をポップアップ

都道府県	設備容量(P.D.)	都道府県	設備容量(P.D.)
北海道	20.86	滋賀県	6.62
青森県	6.62	京都府	8.14
岩手県	7.14	大腸府	19.24
宮城県	9.15	兵庫県	18.26
秋田県	6.06	奈良県	5.45
山形県	5.8	和歌山県	5.95
福島県	10.29	鳥取県	3.15
茨城県	15.8	島根県	3.7
栃木県	10.13	岡山県	11.24
群馬県	10.57	広島県	11.96
埼玉県	21.72	山口県	7.86
千葉県	22.25	徳島県	4.34
東京都	23.33	香川県	5.95
神奈川県	19.32	愛媛県	7.48
新潟県	11.72	高知県	4.19
富山県	5.93	福岡県	18.7
石川県	5.8	佐賀県	4.43
福井県	4.31	長崎県	6.8
山梨県	4.94	熊本県	8.84
長野県	13.83	大分県	5.94
岐阜県	10.35	宮崎県	6.42
静岡県	17.78	鹿児島県	9.39
愛知県	26.82	沖縄県	5
三重県	10.43		

データの利活用方法

■エネルギー固有の留意点があれば記載

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取得の留意点 | 過去の新着情報 | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

都道府県別の導入ポテンシャル。レベル3を表示

レベル1	27.54
レベル2	30.96
レベル3	31.48

グラフにカーソルを合わせると、値をポップアップ

上記グラフに対する、結果を表で表示

図 2.1-11 (1) 概要とデータの利活用方法 (太陽熱) (通常表示)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー種別別 > 太陽熱 > 概要とデータ利活用方法

太陽熱

住宅用等の太陽熱の導入ポテンシャルの分析結果を閲覧することができます。

▼概要 | ▼データの利活用方法

結果の概要

■太陽熱のポテンシャル推計について

推計の基準データは25棟を1単位として、導入ポテンシャルは建物区分ごとに設置箇所数で、500㎡/ポテンシャル単位の太陽熱の利用率と太陽熱蓄熱量を算出した結果、より的確な推計結果を算出しました。詳細はこちらをご覧ください。

都道府県
都道府県

都道府県	設置箇所の数 L=100%
北海道	20.96
青森県	6.62
岩手県	7.14
宮城県	9.16
秋田県	6.96
山形県	5.8
福島県	10.29
茨城県	10.8
栃木県	10.13
群馬県	10.87
埼玉県	21.72
千葉県	22.25
東京都	23.33
神奈川県	19.23
新潟県	11.73
富山県	5.93
石川県	6.8
福井県	4.31
山梨県	4.84
長野県	13.83
岐阜県	10.36
静岡県	17.78
愛知県	26.62
三重県	10.43
滋賀県	6.63
京都府	5.14
大阪府	19.24
兵庫県	10.26
奈良県	6.46
和歌山県	5.86
徳島県	3.16
香川県	3.7
岡山県	11.24
広島県	11.86
山口県	7.86
徳島県	4.36
高知県	5.96
愛媛県	7.46
福岡県	4.19
佐賀県	10.7
長門県	4.83
熊本県	6.8
鹿児島県	6.8
沖縄県	6.84
北海道	6.42
東京都	5.79
沖縄県	1

データの利活用方法

■エネルギー固有の留意点があれば記載

■

太陽熱

概要とデータ利活用方法
概要

再生可能エネルギー情報提供システム

- ・エネルギーの目的に精通
- ・用途が不明
- ・データの取得・入力方法
- ・過去の概要情報
- ・ご質問・お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-11 (2) 概要とデータの利活用方法 (太陽熱) (スマートフォン・タブレット)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム (はじめに エネルギー種別情報 自治体別情報 分析ツール)

ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽光 > 地図

太陽光: 地図 簡易操作手順を表示

概要とデータ活用方法

1. 太陽光導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「太陽光レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示が切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。

例: 麻生区 / 35.224 135.333

太陽光に特殊なツールは無いので、基本機能のみ

EADAS から取得

レイヤ On/Off

レイヤ

- ▼ 導入ポテンシャル
 - ▼ 住宅系
 - 住宅用建築物
 - 住宅用建築物(補完)
 - ▶ 公共系
- ▶ 自然的状況
- ▶ 社会的状況
- ▶ 青森県

凡例

導入ポテンシャル

住宅系

"太陽光導入ポテンシャル"

- 1,000 kW/km² 未満
- 1,000 - 5,000 kW/km²
- 5,000 - 7,500 kW/km²
- 7,500 kW - 10,000 kW/km²
- 10,000 kW/km² 以上

"太陽光導入ポテンシャル(補完)"

- 1,000 kW/km² 未満
- 1,000 - 5,000 kW/km²
- 5,000 - 7,500 kW/km²
- 7,500 kW - 10,000 kW/km²
- 10,000 kW/km² 以上

表示中のレイヤ 凡例表示

再生可能エネルギー 情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-12(1)GIS 画面（太陽光）（通常表示）



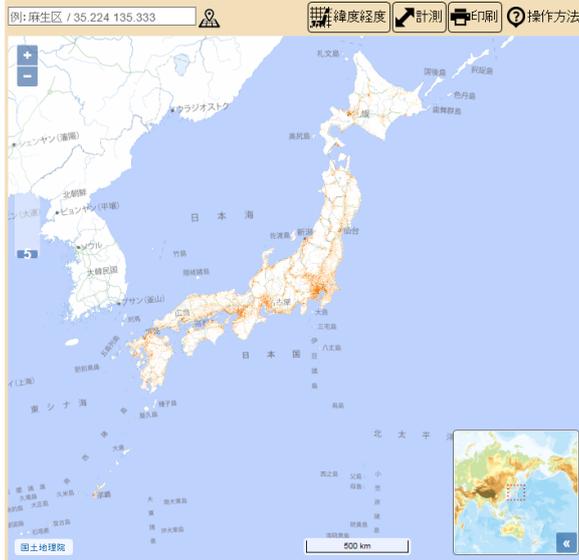
メニュー



ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽光 > 地図

太陽光: 地図

概要とデータ活用方法



太陽光

▼ 導入ポテンシャル

▼ 住宅系

- 住宅用建築物
- 住宅用建築物(補完)

▼ 公共系

- 公共系建築物
- 発電所・工場・物流施設
- 低・未利用地
- 耕作放棄地
- 合算

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用語の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去の新着情報
- ・ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-12(2) GIS 画面 (太陽光) (スマートフォン・タブレット)



図 2.1-13 GIS 画面（共通ダイアログ）

ホーム > エネルギー種別情報 > 風力 > 地図

風力: 地図

概要とデータ活用方法

1. 陸上・洋上風力導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「風力レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示を切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。
3. 「緯度経度」ボタンのクリックにより、緯度経度グリッド線が表示されます。洋上での位置確認に利用してください。

カーソルを変更して、クリックした位置の風配図を表示するモードに



風力

- ▼ 導入ポテンシャル
 - ▶ 賦存量
 - ▼ 導入ポテンシャル
 - 陸上風力
 - 洋上風力
 - 洋上風力条件付き導入ポテンシャル1
 - 洋上風力条件付き導入ポテンシャル2
- ▶ 自然的状況
- ▶ 社会的状況
- ▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

"陸上風力導入ポテンシャル"

- 5.5m/s~6.0m/s
- 6.0m/s~6.5m/s
- 6.5m/s~7.0m/s
- 7.0m/s~7.5m/s
- 7.5m/s~8.0m/s
- 8.0m/s~8.5m/s
- 8.5m/s~9.0m/s
- 9.0m/s以上

"洋上風力導入ポテンシャル"

- 6.5-7.0m/s
- 7.0-7.5m/s
- 7.5-8.0m/s
- 8.0-8.5m/s
- 8.5m/s以上

再生可能エネルギー
本サイトの目的

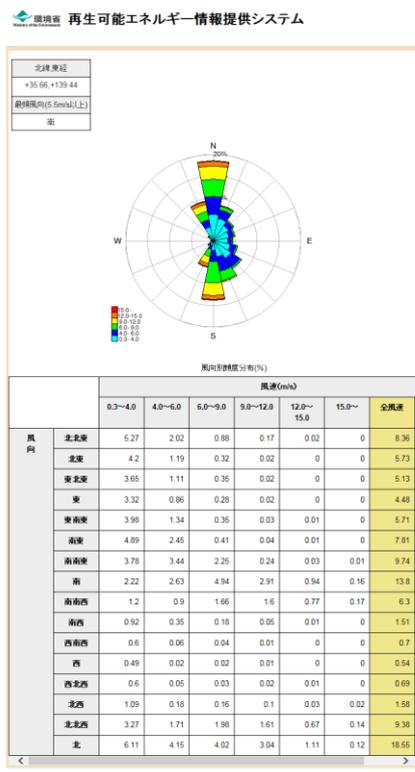


図 2.1-14(1) GIS 画面 (風力) (通常表示)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

メニュー

ホーム > エネルギー種別情報 > 風力 > 地図

風力: 地図

概要とデータ活用方法

例: 相生区 / 35.224 135.333

風力図 緯度経度 計測 印刷 操作方法

国土地理院

500 km

風力

▼ 導入ポテンシャル

▼ 賦存量

- 陸上風力
- 洋上風力

▼ 導入ポテンシャル

- 陸上風力
- 洋上風力
- 洋上風力条件付き導入ポテンシャル1
- 洋上風力条件付き導入ポテンシャル2

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

"陸上風力導入ポテンシャル"

- 5.5m/s~6.0m/s
- 6.0m/s~6.5m/s
- 6.5m/s~7.0m/s
- 7.0m/s~7.5m/s
- 7.5m/s~8.0m/s
- 8.0m/s~8.5m/s
- 8.5m/s~9.0m/s
- 9.0m/s以上

"洋上風力導入ポテンシャル"

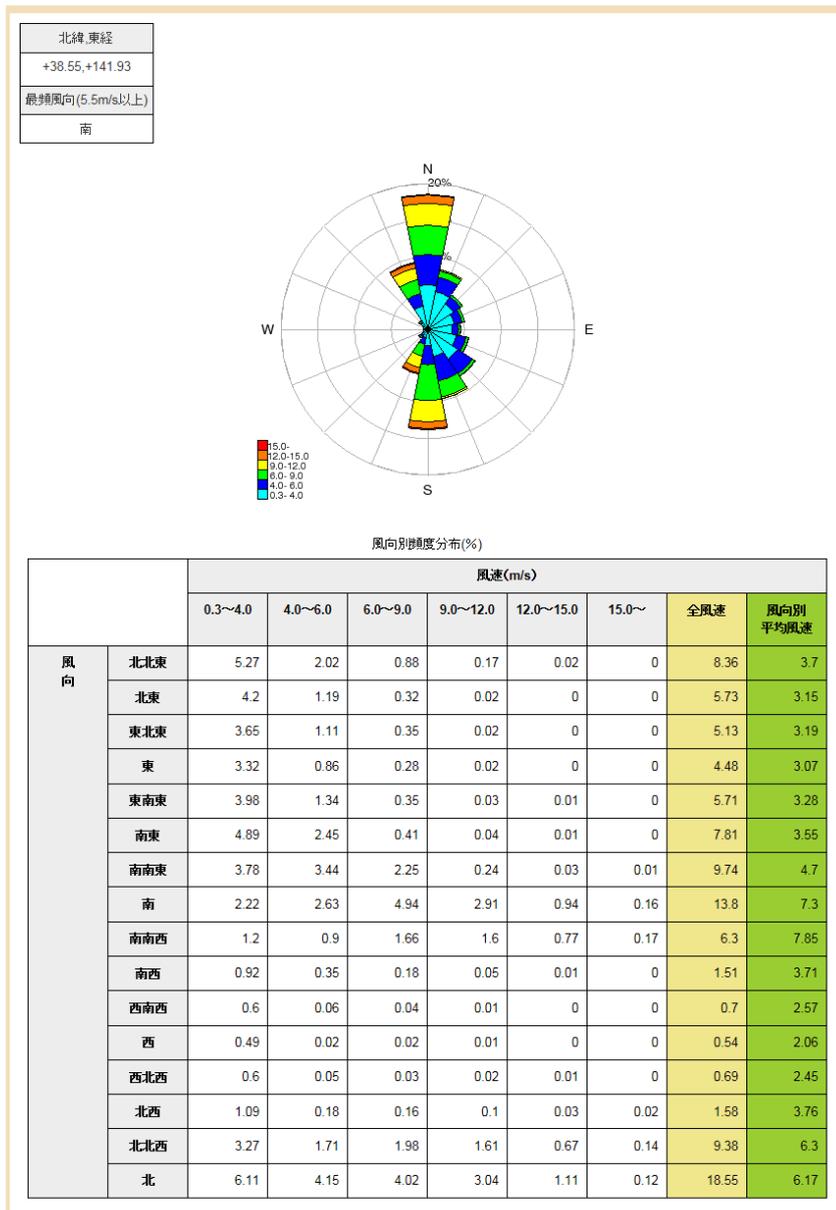
- 6.5-7.0m/s
- 7.0-7.5m/s
- 7.5-8.0m/s
- 8.0-8.5m/s
- 8.5m/s以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用語の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去のお知らせ
- ・ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-14(2) GIS 画面（風力）（スマートフォン・タブレット）



風力 風配図

✕ 閉じる

図 2.1-15(1) 風配図 (通常版)

北緯 東経	
+35.66, +139.44	
最頻風向 (5.5m/s以上)	
南	

下の表は左右スクロールします

風向別頻度分布(%)

	風向	風速(m/s)						全風速
		0.3~4.0	4.0~6.0	6.0~9.0	9.0~12.0	12.0~15.0	15.0~	
北北東	北北東	5.27	2.02	0.88	0.17	0.02	0	8
北東	北東	4.2	1.19	0.32	0.02	0	0	5
東北東	東北東	3.65	1.11	0.35	0.02	0	0	5
東	東	3.32	0.86	0.28	0.02	0	0	4
東南東	東南東	3.98	1.34	0.35	0.03	0.01	0	5
南東	南東	4.89	2.45	0.41	0.04	0.01	0	7
南南東	南南東	3.78	3.44	2.25	0.24	0.03	0.01	9
南	南	2.22	2.63	4.94	2.91	0.94	0.16	1
南南西	南南西	1.2	0.9	1.66	1.6	0.77	0.17	
南西	南西	0.92	0.35	0.18	0.05	0.01	0	1
西南西	西南西	0.6	0.06	0.04	0.01	0	0	
西	西	0.49	0.02	0.02	0.01	0	0	0
西北西	西北西	0.6	0.05	0.03	0.02	0.01	0	0
北西	北西	1.09	0.18	0.16	0.1	0.03	0.02	1
北北西	北北西	3.27	1.71	1.98	1.61	0.67	0.14	9
北	北	6.11	4.15	4.02	3.04	1.11	0.12	18

横に大きめの表は、無理やり縮めずにスワイプ可能にする。

風力風速

✕ 閉じる

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-15(2) 風配図 (スマートフォン・タブレット)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

検索

ホーム (はじめに エネルギー種別情報 自治体別情報 分析ツール ダウンロード)

ホーム > エネルギー種別情報 > 中小水力 > 地図

中小水力: 地図

概要とデータ活用方法

1. 中小水力導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「中小水力レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示を切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。
3. ※「水力」ツールは未実装です。

カーソルを変更して、ポテンシャル推計機能モードに切替
★本年度は未実装

中小水力

▼ 導入ポテンシャル

▶ 賦存量

▼ 導入ポテンシャル

河川

農業用水路

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

“河川 導入ポテンシャル”

- 100kW未満
- 100 - 200kW
- 200 - 500kW
- 500 - 1,000kW
- 1,000 - 5,000kW
- 5,000 - 10,000kW
- 10,000以上kW

“河川 賦存量”

- 10,000kW以上
- 5,000 - 10,000kW
- 1,000 - 5,000kW
- 500 - 1,000kW
- 200 - 500kW
- 100 - 200kW
- 100kW未満

再生可能エネルギー 情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-16(1) GIS 画面 (中小水力) (通常表示)



図 2.1-16(2) GIS 画面 (中小水力) (スマートフォン・タブレット)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > エネルギー種別情報 > 地熱 > 地図

地熱: 地図

概要とデータ活用方法

1. 地熱導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「地熱レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示を切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。

カーソルを変更して、地下温度構造表示モードに

地下温度検索結果

分類	経度	緯度
補間	141.1396954	39.33945717
補間	141.1400518	39.34403466
補間	141.1402445	39.27051372
補間	141.1406006	39.27509176
補間	141.1414777	39.36234423
補間	141.1416691	39.28832564
補間	141.1418343	39.36692152

結果が複数あった場合は選択

地下温度構造グラフが表示されます。

地下温度 緯度経度 計測 印刷 操作方法

地熱

- ▼ 導入ポテンシャル
 - ▶ 賦存量
 - ▼ 導入ポテンシャル
 - バイナリー発電(120°C~150°C)
 - バイナリー発電(120°C~180°C)
 - 蒸気フラッシュ発電(150°C以上)
 - 条件付き1
 - 条件付き2
 - 蒸気フラッシュ発電(150°C以上)
 - 蒸気フラッシュ発電(150°C以上)
 - 蒸気フラッシュ発電(150°C以上)
 - 地下温度構造
- ▶ 自然的状況
- ▶ 社会的状況
- ▶ 青景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

"バイナリー150導入ポテンシャル"

- 1 - 20 kW/km²
- 20 - 40 kW/km²
- 40 - 100 kW/km²
- 100 - 200 kW/km²
- 200 - 400 kW/km²
- 400 - 1,000 kW/km²
- 1,000 - 2,000 kW/km²
- 2,000 - 4,000 kW/km²
- 4,000 - 6,000 kW/km²
- 6,000 - 10,000 kW/km²
- 10,000 - 15,000 kW/km²
- 15,000 - 20,000 kW/km²
- 20,000 - 30,000 kW/km²
- 30,000 - 40,000 kW/km²
- 40,000 kW/km²以上

"バイナリー180導入ポテンシャル"

- 1 - 20 kW/km²

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

地熱 地熱資源分布図

閉じる

種別:補間データ ■緯度:42.48466636 ■経度:142.9311454

出典:

流量

- 蒸気フラッシュ
 - 150°C以上:0kW
 - 180°C以上:0kW
 - 200°C以上:0kW
- バイナリー
 - 120~150°C:0kW
 - 120~180°C:0kW
- 低温バイナリー
 - 53~120°C:0kW
 - 80~120°C:0kW

貯留層基盤深さ

0L地上部からの深さ m

TP:地熱平均地温 m

温度(°C)

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-17(1) GIS 画面 (地熱) (通常表示)



図 2.1-17(2) GIS 画面（地熱）（スマートフォン・タブレット）

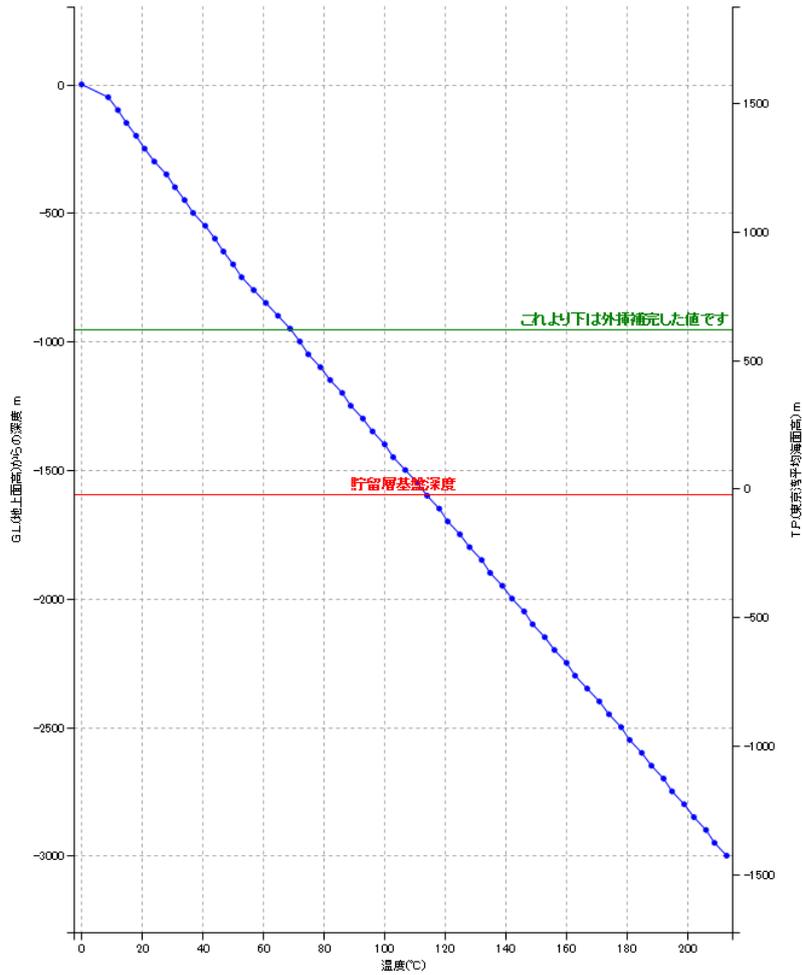
[DEBUG] ■border:[y:-950/x:68.24] ■base_d:[y:-20]

■種別:杭井データ ■緯度:37.7835690148 ■経度:140.203303079

■出典:地熱開発促進調査報告書 No.10吾妻北部地域 昭和62年3月(N58-AZ-3)

■資源量

○蒸気フラッシュ	○バイナリー	○低温バイナリー
150℃以上:0kW	120~150℃:0kW	53~120℃:16kW
180℃以上:0kW	120~180℃:0kW	80~120℃:20kW
200℃以上:0kW		



地熱 地熱資源分布図

✕ 閉じる

図 2.1-18 地熱資源分布図

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム | はじめに | エネルギー種別情報 | 自治体別情報 | 分析ツール | ダウンロード

ホーム > エネルギー種別情報 > 地中熱 > 地図

地中熱: 地図

概要とデータ活用方法

1. 地中熱導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「地中熱レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示が切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。

地中熱に特殊なツールは無いので、基本機能のみ

検索 緯度経度 計測 印刷 操作方法

地中熱

▼ 導入ポテンシャル

▼ 導入ポテンシャル

- 地中熱導入ポテンシャル
- 地中熱導入ポテンシャル(補完)

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

“地中熱導入ポテンシャル”

- 0.05億MJ/年/km²未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km²以上

“地中熱導入ポテンシャル補完”

- 0.05億MJ/年/km²未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km²以上

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-19(1) GIS画面（地中熱）（通常表示）

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム
 Ministry of the Environment

メニュー

ホーム > エネルギー種別情報 > 地中熱 > 地図

地中熱: 地図

概要とデータ活用方法

例: 麻生区 / 35.224 135.333

緯度経度 計測 印刷 操作方法

地中熱

▼ 導入ポテンシャル

▼ 導入ポテンシャル

- 地中熱導入ポテンシャル
- 地中熱導入ポテンシャル(補完)

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

"地中熱導入ポテンシャル"

- 0.05億MJ/年/km² 未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km² 以上

"地中熱導入ポテンシャル 補完"

- 0.05億MJ/年/km² 未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km² 以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

- 本サイトの目的と概要
- 用語の解説
- データ取扱いの留意点
- 過去のお知らせ
- ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-19(2) GIS 画面 (地中熱) (スマートフォン・タブレット)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム | はじめに | エネルギー種別情報 | 自治体別情報 | 分析ツール | ダウンロード

ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽熱 > 地図

太陽熱: 地図

概要とデータ活用方法

1. 太陽熱導入ポテンシャルマップが最初に表示されています。「太陽熱レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示が切り替えられます。
2. 地図画面左上のボックスに住所や緯度経度を入力して、検索アイコンをクリックして表示される一覧から、該当位置に移動することができます。

太陽熱に特殊なツールは無いので、基本機能のみ

太陽熱

▼ 導入ポテンシャル

▼ 導入ポテンシャル

- 太陽熱導入ポテンシャル
- 太陽熱導入ポテンシャル(補完)

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 一覧図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

“太陽熱導入ポテンシャル”

- 0.05億MJ/年/km²未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km²以上

“太陽熱導入ポテンシャル補完”

- 0.05億MJ/年/km²未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km²以上

再生可能エネルギー情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-20(1) GIS 画面（太陽熱）（通常表示）

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム
 Ministry of the Environment

メニュー

ホーム > エネルギー種別情報 > 太陽熱 > 地図

太陽熱: 地図

概要とデータ活用方法

例: 麻生区 / 35.224 135.333

緯度経度 計測 印刷 操作方法

国土地理院

500 km

太陽熱

▼ 導入ポテンシャル

▼ 導入ポテンシャル

- 太陽熱導入ポテンシャル
- 太陽熱導入ポテンシャル(補完)

▶ 自然的状況

▶ 社会的状況

▶ 背景図

凡例

導入ポテンシャル

導入ポテンシャル

"太陽熱導入ポテンシャル"

- 0.05億MJ/年/km² 未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km² 以上

"太陽熱導入ポテンシャル 補完"

- 0.05億MJ/年/km² 未満
- 0.05 - 0.1億MJ/年/km²
- 0.1 - 0.2億MJ/年/km²
- 0.2 - 0.5億MJ/年/km²
- 0.5億MJ/年/km² 以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用語の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去のお知らせ
- ・ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-20(2) GIS 画面 (太陽熱) (スマートフォン・タブレット)

環境省 再生可能エネルギー情報提供システム

ホーム > 地域再生情報 > 導入実績・自治体情報 > 地図

導入実績・自治体情報: 地図

概要とデータ活用方法

- 都道府県単位の太陽光導入実績が最初に表示されています。「導入実績レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示が切り替えられます。
- 「導入実績」ボタンをクリックしたのち、地図画面を選択するとエネルギー別の都道府県導入実績が表示されます。

クリックした都道府県の実績調査の結果を表示。今後の拡張性を保ち、ここには施策や窓口情報を表示可能にする

導入実績 緯度経度 計測 印刷 操作方法

導入実績・自治体情報

エネルギー別実績

- 都道府県別_太陽光実績
- 都道府県別_風力実績
- 都道府県別_中小水力実績
- 都道府県別_地熱実績
- 都道府県別_地中熱実績
- 都道府県別_バイオマス実績

青地図

凡例

エネルギー別実績

都道府県別_太陽光実績*

- 2%未満
- 2-4%
- 4-6%
- 6-8%
- 8%以上

岩手県 結果表示

太陽光	風力	中小水力	地熱	バイオマス	地中熱
導入実績(平成29年度)					
太陽光実績 10kW未満				10.26 kw	
太陽光実績 10kW以上50kW未満				6.68 kw	
太陽光実績 50kW以上500kW未満				1.71 kw	
太陽光実績 500kW以上				21.69 kw	
太陽光 実績合計(kW)				40.34 kw	
太陽光導入ポテンシャル(kW)				326.39 kw	
その他					
再エネ導入目標				(未登録)	
導入計画				(未登録)	
所管部門と連絡先				(未登録)	
推進施策の紹介				(未登録)	

再生可能エネルギー 情報提供システム

本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去の取り組み | お問い合わせ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-21 (1) 都道府県別実績調査結果 (通常表示)

岩手県 結果表示

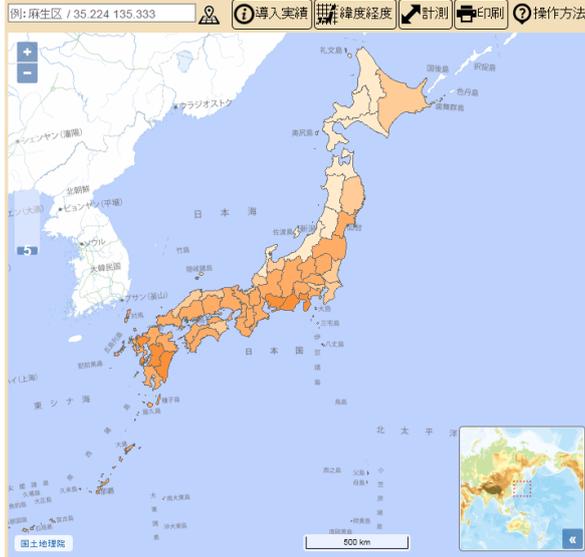
太陽光	風力	中小水力	地熱	バイオマス	地中熱
導入実績(平成29年度)					
太陽光実績 10kW未満				10.26 kw	
太陽光実績 10kW以上50kW未満				6.68 kw	
太陽光実績 50kW以上500kW未満				1.71 kw	
太陽光実績 500kW以上				21.69 kw	
太陽光 実績合計(kW)				40.34 kw	
太陽光導入ポテンシャル(kW)				326.39 kw	
その他					
再エネ導入目標				(未登録)	
導入計画				(未登録)	
所管部門と連絡先				(未登録)	
推進施策の紹介				(未登録)	

←タブで切替えて各エネルギーの情報を表示する。

図 2.1-21 (2) 自治体情報表示ダイアログ

導入実績・自治体情報: 地図

概要とデータ活用方法



導入実績・自治体情報

▼ エネルギー別実績

- 都道府県別_太陽光実績
- 都道府県別_風力実績
- 都道府県別_中小水力実績
- 都道府県別_地熱実績
- 都道府県別_地中熱実績
- 都道府県別_バイオマス実績

▶ 背景図

凡例

- エネルギー別実績
"都道府県別_太陽光実績"
- 2% 未満
 - 2 - 4 %
 - 4 - 6 %
 - 6 - 8 %
 - 8% 以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用語の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去のお知らせ
- ・ご意見・お問合せ

図 2.1-21 (3) 都道府県別実績調査結果 (スマートフォン・タブレット)

ホーム | はじめに | エネルギー種別情報 | 自治体別情報 | 分析ツール | ダウンロード

ホーム > 地域再生情報 > 導入実績・自治体情報 > 地図

導入実績・自治体情報: 地図

概要とデータ活用法

1. 市町村単位の太陽光導入実績が最初に表示されています。「導入実績レイヤ」のツリー内にあるチェックをOn/Offすることで表示非表示が切り替えられます。
2. 「導入実績」ボタンをクリックしたのち、地図画面を選択するとエネルギー別の市町村導入実績が表示されます。

クリックした市町村の実績調査の結果を表示。
今後の拡張性を保ち、ここには施策や窓口情報を表示可能にする

山形県朝日町 属性表示

太陽光	風力	中小水力	地熱	バイオマス	地中熱
導入実績(平成29年度)					
陸上風力実績0					NaN
陸上風力実績20					NaN
陸上風力賦存量					NaN
その他: 風力					

エネルギー別実績

- 市町村別_太陽光実績
- 市町村別_風力実績
- 市町村別_中小水力実績
- 市町村別_地熱実績
- 市町村別_地中熱実績
- 市町村別_バイオマス実績

凡例

エネルギー別実績
"市町村別_風力実績"

- 2%未満
- 2 - 4%
- 4 - 6%
- 6 - 8%
- 8%以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

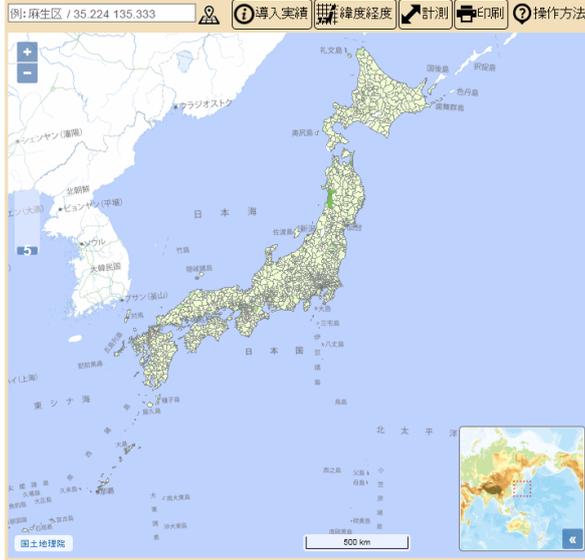
本サイトの目的と概要 | 用語の解説 | データ取扱いの留意点 | 過去のお知らせ | ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-22(1) 市町村別実績調査結果 GIS 表示画面 (通常表示)

導入実績・自治体情報: 地図

概要とデータ活用方法



導入実績・自治体情報

▼ エネルギー別実績

- 市町村別_太陽光実績
- 市町村別_風力実績
- 市町村別_中小水力実績
- 市町村別_地熱実績
- 市町村別_地中熱実績
- 市町村別_バイオマス実績

▶ 背景図

凡例

- エネルギー別実績
"市町村別_風力実績"
- 2%未満
 - 2 - 4 %
 - 4 - 6 %
 - 6 - 8 %
 - 8 %以上

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用語の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去のお知らせ
- ・ご意見・お問合せ

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-22 (2) 市町村別実績調査結果 GIS 表示画面 (スマートフォン・タブレット)

ホーム > ポテンシャル情報

掲載情報

ポテンシャル情報

区分1	区分2	区分3	区分4	成果年度	提供方法
太陽光	住宅用等	導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H25	Shape
			人口メッシュから補完		
	公共系建築物	導入ポテンシャル		H24	Shape
	発電所・工場・物流施設	導入ポテンシャル		H24	
	低・未利用地	導入ポテンシャル		H24	
	耕作放棄地	導入ポテンシャル		H24	
合算	導入ポテンシャル		H24		
風力	陸上	賦存量		H27	Shape
		基本となる導入ポテンシャル		H27	Shape
	洋上	賦存量		H27	Shape
		基本となる導入ポテンシャル		H27	Shape
		条件付き導入ポテンシャル1		H27	Shape
		条件付き導入ポテンシャル2		H27	Shape
中川水力	河川部	賦存量		H27	Shape
		基本となる導入ポテンシャル		H27	Shape
	農業用水路	賦存量		H27	Shape
		基本となる導入ポテンシャル		H27	Shape
地熱	蒸気フラッシュ発電(150°C以上)	賦存量※1		H26	Shape
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26	Shape
		条件付き導入ポテンシャル1		H26	Shape
		条件付き導入ポテンシャル2		H26	Shape
	バイナリー発電(120°C～150°C以上)	賦存量※1		H26	Shape
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26	Shape
	バイナリー発電(120°C～180°C以上)	賦存量※1		H26	Shape
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26	Shape
地中熱	住宅用等	基本となる導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H27	Shape
			人口メッシュから補完		
太陽熱	住宅用等	基本となる導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H27	Shape
			人口メッシュから補完		

昨年度の検討を基に、ポテンシャルデータのダウンロード一覧

図 2.1-23(1) ダウンロード (ポテンシャル) (通常表示)

ポテンシャル情報

下の表は左右スクロールします

区分1	区分2	区分3	区分4	成果年度
太陽光	住宅用等	導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H25
			人口メッシュから補完	
	公共系建築物	導入ポテンシャル		H24
			発電所・工場・物流施設	
	低・未利用地	導入ポテンシャル		H24
	耕作放棄地	導入ポテンシャル		H24
合算	導入ポテンシャル		H24	
風力	陸上	賦存量		H27
		基本となる導入ポテンシャル		H27
	洋上	賦存量		H27
		条件付き導入ポテンシャル1		H27
	条件付き導入ポテンシャル2		H27	
中小水力	河川部	賦存量		H27
		基本となる導入ポテンシャル		H27
	農業用水路	賦存量		H27
		基本となる導入ポテンシャル		H27
地熱	蒸気フラッシュ発電 (150℃以上)	賦存量※1		H26
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26
		条件付き導入ポテンシャル1		H26
		条件付き導入ポテンシャル2		H26
	バイナリー発電 (120℃～150℃以上)	賦存量※1		H26
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26
	バイナリー発電 (120℃～180℃以上)	賦存量※1		H26
		基本となる導入ポテンシャル※1		H26
地中熱	住宅用等	基本となる導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H27
			人口メッシュから補完	
太陽熱	住宅用等	基本となる導入ポテンシャル	住宅地図ベース	H27
			人口メッシュから補完	

掲載情報

再生可能エネルギー情報提供システム

- ・本サイトの目的と概要
- ・用途の解説
- ・データ取扱いの留意点
- ・過去のお知らせ
- ・ご意見・お問い合わせ

図 2.1-23(2) ダウンロード (ポテンシャル) (スマートフォン・タブレット)

ゾーニング関連情報

ゾーニング関連情報

データ	太陽光	風力	中小水力	地熱	地中熱	太陽熱	提供方法
国立公園、国定公園	○	○	○	○	○	○	EADAS ※1
都道府県立自然公園	○	○	○	○	○	○	EADAS
原生自然環境保全地域、自然環境保全地域	○	○	○	○	○	○	EADAS
都道府県自然環境保全地域	○	○	○	○	○	○	EADAS
鳥獣保護区	○	○	○	○	○	○	EADAS
世界自然遺産地域	○	○	○	○	○	○	EADAS
保安林	○	○	○	○	○	○	EADAS
地域森林計画対象長有林	○	○	○	○	○	○	EADAS
港湾区域		○					EADAS
航空制限区域		○					地理院地図
米軍訓練区域		○					EADAS
自衛隊射撃訓練等海上区域		○					EADAS
農用地区域	○	○	○	○	○	○	EADAS
市街化区域	○	○	○	○	○	○	EADAS
景観計画区域(景観計画区域、景観重点区域)	○	○	○	○	○	○	EADAS
景観区域・準景観区域	○	○	○	○	○	○	EADAS
景観重要建造物・樹木	○	○	○	○	○	○	EADAS
国指定文化財等	○	○	○	○	○	○	EADAS
世界文化遺産	○	○	○	○	○	○	EADAS
都道府県指定文化財	○	○	○	○	○	○	EADAS
傾斜区分図	○	○	○	○	○	○	EADAS
地上開度		○					EADAS
航空路レーダー		○					EADAS
土地利用	○	○	○	○	○	○	EADAS
自然景観資源		○		○			EADAS
観光資源		○		○			EADAS
地質柱状図					○		KunJiban
地下水利用適正化調査報告書等					○		地下水利用適正化調査報告書
水文環境図					○		Shape
全国工業用地下水賦存量分布図					○		GeoTIFF
堆積物の地層境界面と層厚の三次元モデル					○		Shape
全国地下水水位推定					○		Shape
日本水理地質図					○		地質図Navi
全国の地盤沈下地域の概況					○		環境省
工業用水法					○		Shape
地下水採取規制の地域指定区域					○		Shape
湧水規制等の条例					○		Shape
地盤沈下防止等対策箇網					○		Shape
大深度地下使用法の対策地域					○		Shape
大深度地下マップ					○		Shape
大深度地下使用申請物の経路					○		※2

※1:環境アセスメント環境基礎情報データベースシステム
 ※2:全国概要
 全体概要 国土交通省ホームページ
 東京外郭圏(八潮) 国土交通省関東地方整備局ホームページ
 中央新幹線 国土交通省関東地方整備局ホームページ
 (原付)淀川 国土交通省神奈川地方整備局ホームページ
 一級河川(淀川) 国土交通省神奈川地方整備局ホームページ
 神戸市大谷壺治水官舎整備事業 近畿地方整備局ホームページ

図 2.1-24(1) ダウンロード(ゾーニング) (通常表示)

ゾーニング関連情報

下の表は左右スクロールします

データ	太陽光	風力	中小水力	地中熱	太陽熱
国立公園、国定公園	○	○	○	○	○
都道府県立自然公園	○	○	○	○	○
原生自然環境保全地域、自然環境保全地域	○	○	○	○	○
都道府県立自然環境保全地域	○	○	○	○	○
鳥獣保護区	○	○	○	○	○
世界自然遺産地域	○	○	○	○	○
保安林	○	○	○	○	○
地域森林計画対象民有林	○	○	○	○	○
港湾区域	○	○	○	○	○
航空制限区域	○	○	○	○	○
米軍訓練区域	○	○	○	○	○
自衛隊射撃訓練等海上区域	○	○	○	○	○
農用地区域	○	○	○	○	○
市街化区域	○	○	○	○	○
景観計画区域(景観計画区域、景観重点区域)	○	○	○	○	○
景観区域・準景観区域	○	○	○	○	○
景観重要建造物・樹木	○	○	○	○	○
国指定文化財等	○	○	○	○	○
世界文化遺産	○	○	○	○	○
都道府県指定文化財	○	○	○	○	○
俳句分回	○	○	○	○	○
地上開成	○	○	○	○	○
航空路レーダー	○	○	○	○	○
土地利用	○	○	○	○	○
自然景観資源	○	○	○	○	○
観光資源	○	○	○	○	○
地質柱状図	○	○	○	○	○
地下水利用適正化調査報告書等	○	○	○	○	○
水文図	○	○	○	○	○
全国工業用地下水賦存量分布図	○	○	○	○	○
堆積物の地層境界面と層厚の三次元モデル	○	○	○	○	○
全国地下水水位推定	○	○	○	○	○
日本水理地質図	○	○	○	○	○
全国の地盤沈下地域の概況	○	○	○	○	○
工業用水法	○	○	○	○	○
地下水採取規制の地域指定区域	○	○	○	○	○
排水規制等の条例	○	○	○	○	○
地盤沈下防止等対策要綱	○	○	○	○	○
大深度地下使用法の対策地域	○	○	○	○	○
大深度地下マップ	○	○	○	○	○
大深度地下使用申請物の経路	○	○	○	○	○

ゾーニング関連情報

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・ 連絡先
- ・ 御意見・問合せ
- ・ 過去の新着情報
- ・ 本サイトの目的と概要
- ・ データ取扱いの留意点
- ・ 用語の解説

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved.

図 2.1-24 (2) ダウンロード(ゾーニング) (スマートフォン・タブレット)

更に詳細はPDFで(現在の環境省ページでの公開の仕方と同様)

資源量に関する基礎情報

資源量に関してこれまで整備してきた基礎情報を掲載しています。利用方法などの詳細は [こちら](#) をご覧ください。

資源量に関する基礎情報

データ	情報提供元(出典)	太陽光	風力	中小水力	地熱	地中熱	太陽熱	提供方法
地域別日射量情報	農業環境技術研究所アメダス観測データ(1978-2009年平均)から、「清野 裕(1993):アメダスデータのメッシュ化について、農業気象, 48(4), 379-383」の手法により1kmメッシュ毎に推定したデータを、3次メッシュデータに変換した。	○					○	Shape
地熱温度分布図	平成25年度 地熱発電に係る導入ポテンシャル精密調査・分析委託業務				○			再生エネ提供GIS
地熱温度構造	平成25年度 地熱発電に係る導入ポテンシャル精密調査・分析委託業務				○			再生エネ提供GIS
日本温泉・鉱泉分布位置	日本温泉・鉱泉分布図及び一覧(第2版)(CD-ROM版)に収録されているCSVデータ				○			Shape
風況マップ(全国)	「平成23年度東北地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成24年度北海道地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成26年度九州・沖縄地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成25年度再生可能エネルギー導入拡大に向けた系統整備等調査事業委託業務」にて作成		○					風況マップ
熱需要マップ	平成27年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備					○	○	Shape
採熱率マップ	平成24年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備					○		Shape

一覧表で表示
 可能なデータはダウンロード可能とする。
 その他、外部サイトについてはURLリンクする

図 2. 1-25(1) 資源量に関する基礎情報掲載情報 (通常表示)

資源量に関する基礎情報

資源量に関してこれまで整備してきた基礎情報を掲載しています。利用方法などの詳細は [こちら](#)をご覧ください。

☺ 下の表は左右スクロールします

データ	情報提供元(出典)	太陽光	風力	中小水力	地熱
地域別日射量情報	農業環境技術研究所アメダス観測データ(1978-2009年平均)から、「清野 聡(1993):アメダスデータのメッシュ化について、農業気象, 48(4), 379-383」の手法により1kmメッシュ毎に推定したデータを、3次メッシュデータに変換した。	○			
地熱温度分布図	平成25年度 地熱発電に係る導入ポテンシャル精密調査・分析委託業務				○
地熱温度構造	平成25年度 地熱発電に係る導入ポテンシャル精密調査・分析委託業務				○
日本温泉・鉱泉分布位置	日本温泉・鉱泉分布図及び一覧(第2版)(CD-ROM版)に収録されているCSVデータ				○
風況マップ(全国)	「平成23年度東北地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成24年度北海道地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成25年度九州・沖縄地方における風況変動データベース作成事業委託業務」、「平成26年度再生可能エネルギー導入拡大に向けた系統整備等調査事業委託業務」にて作成		○		
熱需要マップ	平成27年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備				○
採熱率マップ	平成24年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備				○

横に大きめの表は、無理やり縮めずにスワイプ可能にする。

資源量に関する基礎情報

再生可能エネルギー 情報提供システム

- ・ 連絡先
- ・ 御意見・問合せ
- ・ 過去の新着情報
- ・ 本サイトの目的と概要
- ・ データ取扱いの留意点
- ・ 用語の解説

図 2.1-25(2) 資源量に関する基礎情報掲載情報 (スマートフォン・タブレット)

ホーム > はじめに

はじめに

本サイトの目的と概要

本サイトは、環境に配慮した再生可能エネルギーの導入に向け、環境情報(植生図、海鳥の分布図等)、導入ポテンシャル情報等をわかりやすく発信するとともに、地域関係者が主体となった事業化の展開を後押しする情報・分析ツールの提供を行うことを目的としています。

次に示す4つのコンテンツから構成されています。

■ 全国再生エネ情報

再生可能エネルギーの導入に向けた検討の参考資料としていただくため、「再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報」及び過年度調査において作成したマップデータや統計データを公開しています。この調査では、住宅用等太陽光、公共系等太陽光、陸上・洋上風力、中小水力、地熱、太陽熱、地中熱の賦存量、導入ポテンシャルを推計しています。

※太陽光については、平成23年度業務までは、「非住宅系太陽光発電」と「個別建築物に着目した太陽光発電」という2つの区分に分けて推計していましたが、一部の区分(学校、余暇施設、医療、公共施設)が両区分に属していたため、重複しないように「住宅用等太陽光」と「公共系等太陽光」の2区分に分けて推計しました。

■ 地域再生エネ情報

全国再生エネ情報やそのほかの統計情報を基に、各都道府県市町村における再生可能エネルギーの導入ポテンシャルと導入実績(風力と地熱(は計画を含む))を可視化したものです。

■ 分析ツール

地域に賦存するポテンシャルを地域関係者が自ら活用し、ポテンシャル情報等を事業化につなげるための情報分析ツールを提供します。

■ データダウンロード

全国再生エネ情報や地域再生エネ情報の整備結果や、これらの整備に伴い作成もしくは収集したデータの提供又は提供元の案内を行います。

データ取り扱い上の留意点

本サイトで提供している各種のデータは、あくまで全国的な賦存量及び導入ポテンシャルの推計結果であり、地域単位での推計や具体的な地点の特定等には必ずしも適したものではありません。ある一定の考え方に基づく導入ポテンシャルの推計結果とお考えください。

例えば、中小水力に関しては、河川合流点に仮想発電所を想定して推計を行っていますので、実際に導入ポテンシャルが示されているとしても、その位置が適切かどうかについては地域ごとに検討する必要があります。

導入ポテンシャルマップを引用する場合には、出典(環境省「再生可能エネルギー導入ポテンシャルマップ(平成28年度更新版)」又は環境省「再生可能エネルギーゾーニング基礎情報(平成28年度版)」)や条件等を明記してください。

マップに使用している情報は、国土数値情報等で整備されている既存の全国データを使用していますが、必ずしも最新の情報を反映していないものもあります。法令等による指定区域に関する詳細情報については、各都道府県や所管省庁にお問い合わせください。

再生可能エネルギー 情報提供システム

ご意見・問合せ | 過去の新着情報 | 本サイトの目的と概要 | データ取り扱いの留意点 | 用語の解説

Copyright Ministry of the Environment Government of Japan. All rights reserved

図 2.1-26(1) はじめに (通常表示)

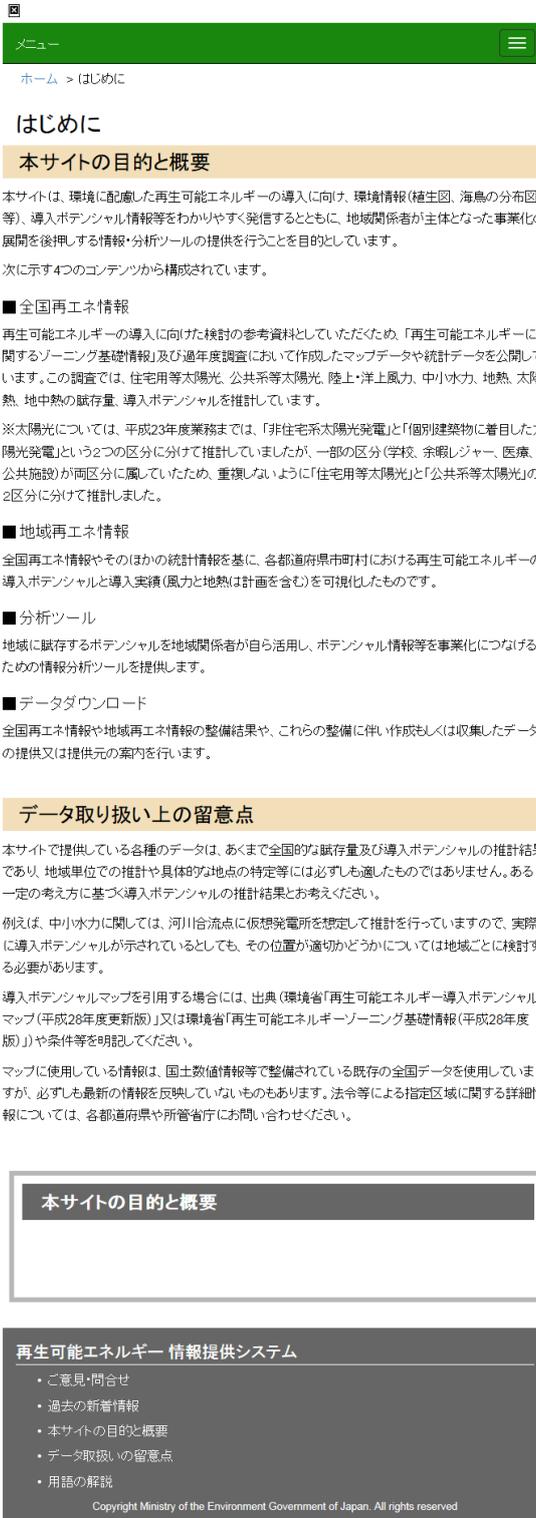


図 2.1-26 (2) はじめに (スマートフォン・タブレット)



図 2.1-27 (1) 用語の解説（通常表示）

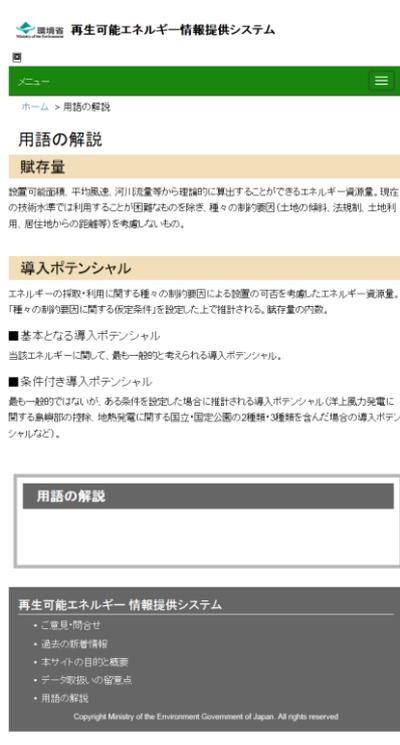


図 2.1-27 (2) 用語の解説（スマートフォン・タブレット）



図 2.1-28(1) ご意見・お問合せ（通常表示）

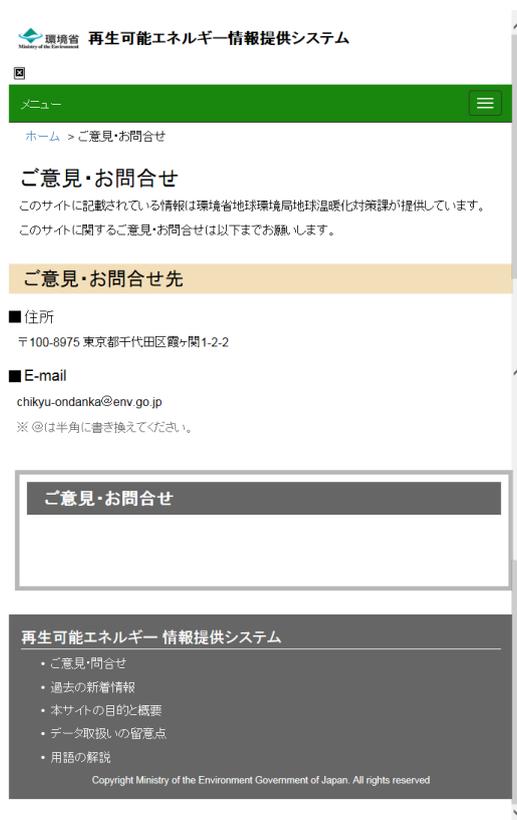


図 2.1-28(2) ご意見・お問合せ（スマートフォン・タブレット）

4) ディレクトリ構成

再エネ情報提供システムの、ディレクトリ構成と該当フォルダに格納されるファイルの概要を表 2.1-5 に示した。

表 2.1-5 再エネ情報提供システムのディレクトリ構成

階層 1	階層 2	概要
api		Web サーバ側で動作するプログラム群を格納する
	bin	プログラム本体 (dll)
css		各 Web ページのデザイン設定ファイルを格納する
dat		データ類を格納する
	dummy	EADAS のレイヤ情報を格納する
	include	ヘッダー、フッターなど共通部品を格納する
	layers	レイヤー情報を格納する
	menus	レイヤーの構成情報(メニュー)を格納する
doc		操作マニュアルや導入ポテンシャルの説明資料などを格納する
img		画像やアイコンなどのファイルを格納
	legend	レイヤの凡例画像を格納する
	marker	強調表示などのアイコンを格納する
js		Web ページで動作するプログラム本体を格納する
libs		javascript のライブラリを格納する

(3) GIS 搭載データ

本 GIS ではこれまでのポテンシャル調査で作成してきた GIS データ以外に、EADAS で公開しているデータを重ねて表示できるように機能を整備した。EADAS で提供している GIS データに対して、再エネ情報提供としての必要性を整理し、再エネ情報提供サイトから閲覧できることが望ましいと考えられるデータを次の通り整理した。EADAS のグループ分けに合わせて、自然的状況については表 2.1-6、社会的状況については表 2.1-7 に示した。

表 2.1-6 自然的状況 (EADAS 掲載情報より)

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
1	大気環境の状況	気象観測所	気象庁が管理し気象観測を行っている気象官署の位置、観測している気象要素等を整備したものです。	—
2		大気汚染常時監視測定局	大気汚染防止法に基づき、都道府県等が実施している全国の大気汚染状況の常時監視をしている測定局の位置、名称、測定項目等の情報を整備したものです。	—
3		自動車騒音常時監視地点	騒音規制法に基づき、都道府県等が実施している自動車交通騒音の常時監視について、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間の結果を示しています。測定地点について位置や路線名、評価区間について範囲や延長、路線名等の情報を整備したものです。	—
4	水環境の状況	河川	河川」のデータは、河川法による 1 級直轄区間、1 級指定区間、2 級河川区間、その他流路について、形状 (線)、区間種別 (1	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			級直轄区間、1 級指定区間、2 級河川区間等)、河川名、原典資料種別等の情報を整備したものです。	
5		湖沼	湖沼、貯水池等について、位置(面)、名称、所在地(行政区)等の情報を整備したものです。	○
6		潮汐観測位置	全国の潮汐観測所(潮位観測所、験潮場)の情報を整備したものです。	○
7		波浪観測位置	国土交通省港湾局が整備している波浪情報網のための観測地点および気象庁沿岸波浪計の情報を整備したものです。	○
8		河川の公共用水域水質測定点	水質汚濁防止法の規定に基づき、環境基準項目を中心に、都道府県、水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理については国土交通省地方整備局等によって実施されている河川の水質測定について、位置、測定地点名、測定項目等の情報を整備したものです。	—
9		湖沼の公共用水域水質測定点	水質汚濁防止法の規定に基づき、環境基準項目を中心に、都道府県、水質汚濁防止法政令市によって実施されている湖沼の水質測定について、位置、測定地点名、測定項目等の情報を整備したものです。	—
10		海域の公共用水域水質測定点	水質汚濁防止法の規定に基づき、環境基準項目を中心に、都道府県、水質汚濁防止法政令市によって実施されている海域の水質測定について、位置、測定地点名、測定項目等の情報を整備したものです。	—
11		水浴場水質測定点	地方公共団体が実施した全国の水浴場の開設前に行った水質調査について、その位置や水浴場の名称等の情報を整備したものです。	—
12	土壌及び地盤の状況	土壌分類図	土壌分類図(縮尺 1/20 万)は、国によって都道府県単位で実施された土地分類基本調査の成果の一つです。土壌の特徴を「グライ土」「褐色森林土」「黒ボク土」等の大区分と、「細粒グライ土壌」「乾性褐色森林土壌」「粗粒淡色黒ボク土壌」等の小区分に分類しています。なお小区分は都道府県ごとに区分方法や命名が異なり統一凡例で示すことが難しいことから、この土壌分類図における凡例は大区分で示し、小区分は地図上にて区域線とラベルで表示しています。	—
13		レッド・データ土壌	集めた情報を整理し、保全の危急度のランク付けを行った土壌のレッドデータです。このGISデータは、日本ペトロロジー学会幹事会の承認を得て、原典をもとに新たにGISデータを作成したもので、「レッド・データ土壌」の位置(点、面)、土壌名、分類名、地形、土壌の消滅度緊急ランク等の情報を整備しています。	○
14	地形及び地質の状況	日本の典型地形	「日本の典型的地形に関する調査」は、平成7年から平成11年に国土地理院が地形の専門家の協力を得て、日本の多様な地形を成因別に194の地形項目に分け、それぞれの地形項目の特徴を有する代表的な地形(全国約3,900箇所)について、都道府県別の一覧表とその位置を概要図(縮小した20万1地勢図)に整理し、「日本の典型地形、都道府県別一覧」(国土地理院技術資料D1-No.357)として取りまとめたものです。地形の種類、名称、地形項目、定義、地形備考、対照番号等の情報を整備しています。	○
15		地形分類図	地形分類図(縮尺 1/20 万)は、国によって都道府県単位で実施された土地分類基本調査の成果の一つです。地形の特徴を「山地」「丘陵地」「低地」等の大区分と、「大起伏丘陵地」「小起伏丘陵地」等の小区分に分類しています。なお、この地形分類図の凡例は、大区分と小区分の組み合わせで示しています。	—

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
16		日本の地形レッドデータ	日本の自然を代表する地形を希少性、動植物の生息地としての重要性等の基準により選定し、保存状況のランク付けが行われている地形のレッドデータです。第1集（危機にある地形）は「破壊されつつある地形」が、第2集（保存すべき地形）は現在破壊が進んでいなくても将来にわたって「保存すべき地形」が選定されています。このGISデータは原典の編者である小泉武栄氏の承認を得て原典をもとに新たに作成したもので「日本の地形レッドデータ」の位置（点、面）、第1集、2集の区分、所在地、名称、カテゴリ、地形の特性、選定基準、ランク、保全状況、地形図幅名等の情報を整備しています。	○
17		地方公共団体の重要な地形・地質	地方公共団体が定めている重要な地形・地質について、位置（点、線、面）情報と所在地、名称、カテゴリ区分、選定基準、保存状況のランク、原典の名称、整備年度等の属性情報をGISデータとして整備したものです。このGISデータは、地方公共団体がホームページで公開しているレッドデータブックまたはレッドリストの地形・地質の情報を使用して、新たに位置（点・線・面）情報及び属性情報のGISデータを作成し、集約・編集したものです。	○
18		赤色立体地図（陸域詳細版）	赤色立体地図とは、傾斜を赤色の濃淡、尾根などの周りより凸なところは白く明るく、谷など凹んでいるところは暗く表現することで、平面の地図にもかかわらず、上下左右どの方向から見ても立体に見えるようにした地図です。（国土地理院発行基盤地図情報標高10mDEM（2008年～2009年）より作成しています）	○
19		傾斜区分図	国土地理院が発行の数値地図（国土基本情報）に収録されている50mメッシュ数値標高データをもとに傾斜区分として整備したものです。	○
20		地上開度	国土地理院が発行の数値地図（国土基本情報）に収録されている50mメッシュ数値標高データをもとに地上開度を整備したものです。	○
21		水深	日本周辺の500mメッシュ海底地形データ（J-EGG500：JODC-Expert Grid data for Geography）は、海洋情報部をはじめとした各種海洋調査機関によって得られた膨大な量の水深測量データを統合し、多くの人が使用しやすいように等間隔で格子化した水深のデータセットです。	○
22		表層地質図	表層地質図（縮尺1/20万）は、国によって都道府県単位で実施された土地分類基本調査の成果の一つです。原典のGISデータを表層地質の特徴を「火山性」「未固結」「固結」等の大区分と、「花崗岩質岩石」「粘板岩」等の小区分に分類して示しています	○
23		表層地質図_断層	表層地質図（縮尺1/20万）は、国によって都道府県単位で実施された土地分類基本調査の成果の一つです。「断層」のレイヤは、表層地質図（平面的分類図）に重ねて表示させる付加情報です。	○
24		海底の底質	海図は、水路図誌の一種で航海のためにつくられた主題図で、航海のために必要な水路の状況（水深、底質、海岸地形、海底危険物、航路標識）などが、正確に見やすく表現されています。「海底の底質」は、船の錨を入れるときに必要な岩・砂・泥などの海の底の状態を示しています。	○
25	動植物の生息又は生育、植生及び生態系の	コウモリ洞分布	「日本のコウモリ洞総覧」に掲載されているコウモリ洞窟位置が含まれる市町村の位置、種名、原典種名、都道府県コード、都道府県名、地名、重要生息地、3次メッシュコード、出典文献等の情報を整備したものです。市町村境界は昭和60年度時	—

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
	状況_(動物)		点のものを使用しています。	
26		コウモリ生息情報	一般公開されている関連各種の文献(1958~2016年)を対象にコウモリ類の生息情報を抽出し、確認された地名を1km格子のポリゴンメッシュデータに変換した上、種名、原典種名、都道府県コード、都道府県名、地名、重要生息地、3次メッシュコード、出典文献等の情報を整備したものです。	—
27		イヌワシ・クマタカ_生息分布	1990年から2002年3月におけるイヌワシ及びクマタカの生息分布状況を、生息確認ランク別に2次メッシュで示したもので、2次メッシュ単位の分布情報のほか、生息確認調査期間、生息確認ランク等の情報を整備したものです。このGISデータは、原典項目に示す資料の2次メッシュ単位の分布数量表をもとに作成しています。	—
28		オオワシ・オジロワシ_生息分布	オジロワシ・合同調査グループの一斉結果、環境省保護増殖事業の分布調査2007-2009年の情報収集に基づいた海ワシ類の出現状況を示したもので、種別かつ観察時期別に、2次メッシュ当たりの最大値年の個体数を示しています。	—
29		渡りをするタカ類集結地	1989年から20年間のサシバ、ハチクマ、ノスリ、アカハラダカの秋季、春季の渡り時期における全国の観察地点における数量調査結果を、2次メッシュ単位の日最大出現数を階級表示したもので、2次メッシュ単位の位置情報(面)のほか、観察時期、最大出現数観察地点名、都道府県名、調査実施年、2次メッシュ当たりの日最大出現数等の情報を整備したものです。このGISデータは、原典の数値情報(付表B)を正とし、参考データの2次メッシュを用いて作成しています。	—
30		ガン類・ハクチョウ類の主要な集結地	全国におけるマガン、ヒシクイ、オオハクチョウ、コハクチョウの越冬期、渡り期の集結地における数量調査結果について、2次メッシュ単位の分布情報、観察時期、調査地名、調査実施年、2次メッシュ当たりの日最大出現数等の情報を整備したものです。このGISデータは、原典の数値情報(付表C)を正とし、参考データの2次メッシュを用いて作成しています。	—
31	動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況_(注目すべき生息地)	生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)	湿原・干潟等の湿地の減少や劣化に対する国民的な関心の高まり、ラムサール条約における湿地定義の広がりなどを受けて、ラムサール条約登録に向けた礎とすることや生物多様性の観点から重要な湿地を保全することを目的に平成13年、環境省が「日本の重要湿地500」として選定した。さらに、地域住民等が湿地の重要性を認識し、湿地保全・再生の取組を活性化することを目指して、情報収集のための基礎調査を行い、生物多様性保全や自然再生等の観点から有識者の意見などを踏まえて、「日本の重要湿地500」の見直しを行った。本結果が『生物多様性の観点から重要度の高い湿地[重要湿地]』である。本データは、この「重要湿地」のおおよその位置、都道府県コード、都道府県名、市区町村コード、市区町村名、湿地名、湿地名(ふりがな)、湿地タイプ、対照番号等の情報を整備したものです。	—
32		生物多様性保全上重要な里地里山(重要里地里山)	さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つであると位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山(略称「重要里地里山」)」(500箇所)として環境省が選定した結果を基に、おおよその位置、都道府県コード、都道府県名、市区町村コード、市区町村名、名称、名称(ふりがな)、選定基準、対照番号等の情報を整備したものです。	—
33		重要野鳥生息地(IBA: Important)	重要野鳥生息地(IBA: Important Bird Area)は、国際的組織BirdLife Internationalが重要な野生生息地を世界全体のネットワークで保全していくことを目的として、共通のIBA	—

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
		Bird and Biodiversity Area)	基準により選定した「鳥類を指標とした重要な自然環境」のエリアです。このGISデータは、日本国内のIBAサイトについて、位置(面)、標準サイト名、サイト名詳細、所在地(都道府県)、面積(ha)、選定基準、選定基準別種名等の情報を整備したもので、公益財団法人日本野鳥の会の承諾を得て、次の原典項目に示す同会が作成した資料及びGISデータを使用して整備しています。	
34		生物多様性重要地域(KBA: Key Biodiversity Area)	生物多様性重要地域(KBA: Key Biodiversity Area)は、国際環境NGOのコンサベーション・インターナショナル(CI)が、種の個体群の維持を重視した世界共通の基準を用いて選定した「生物多様性の保全上重要な地域」です。このGISデータは、日本国内のKBAについて、位置(面)、KBA英名、KBA和名、[KBA地域]及び[保護地域内のKBA]の地域区分等の情報を整備したもので、コンサベーション・インターナショナルが公開サイトで提供している次の原典項目に示すGISデータをダウンロードにより得て、整備しています。	—
35		東アジア・オーストラリア地域渡り性水鳥重要生息地ネットワーク(EAAFP)国内参加地	この「EAAFP参加地」情報は、東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ(EAAFP)に参加している国や団体が、保護活動を行っている渡り性水鳥の重要な生息地の位置及び内容を示しています。なお、日本では、種群ごとに生息している場所や保全活動内容が異なることが多いため、シギ・チドリ類、ガンカモ類、ツル類の3つの種群ごとに重要生息地ネットワークを作っています。このGISデータは、環境省自然環境局野生生物課の了承を得て、次の原典項目に示す資料及びデータを使用して、作成しています。	—
36		シギ・チドリ類モニタリングサイト1000	シギ・チドリ類、絶滅危惧種のズグロカモメ・クロツラヘラサギ・ヘラサギ・ツクシガモ等について、環境省生物多様性センターが個体数調査及び調査地周辺の環境状況の調査を行っているモニタリングサイトの位置を示した地図情報です。このGISデータは、原典項目に示す既存GISデータ及び各種資料を使用して、平成24年度末におけるモニタリングサイトの位置、サイト名(調査地名)、コアサイト及び一般サイトの区分等の情報について、整備したものです。	—
37		ウミガメ産卵地	日本沿岸のウミガメの主な産卵地のおおよその位置、都道府県コード、都道府県名、管区、所在地、産卵地名称、データ年度、調査年度等の情報を整備したものです。	—
38		海棲哺乳類確認情報	海生哺乳類のストランディング情報(生死を問わず海岸に到達したもの)に記載されている位置、都道府県コード、都道府県名、和名、学名、下関鯨類研究室登録番号、水産庁番号、群頭数、発見地、合併後の住所、海域名称、年月日等の情報を整備したものです。「海棲哺乳類ストランディングデータベース」(国立科学博物館)に収録されている情報のうち、2010年1月1日以降のデータ(全1951件)を掲載しています。	—
39	動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況_(干潟・藻場・サンゴ礁)	干潟・藻場・サンゴ礁分布	環境省(環境庁)による第4回及び第5回自然環境保全基礎調査に基づいて、全国における干潟・藻場・サンゴ礁の位置(面)、調査区の名称、面積、干潟のタイプ、藻場のタイプ、サンゴ礁については被度・優占度等の情報について、整備したものです。/調査時期: 1. 第4回: 平成1~4年度、2. 第5回: 平成9~13年度	—
40	動植物の生息又は生育、植生及	絶滅危惧種(植物)の分布情報	環境省の植物I(維管束植物)第3次レッドリスト(平成19年)に掲載された2018種の中から、開発行為にさらされやすい湿地や草地の植物を中心に、公開種561種について、2次メ	—

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示	
	び生態系の状況_ (植物)		ツシュ単位の分布位置 (面)、科名、和名、学名、第2次レッドリスト (平成12年) におけるランク、第3次レッドリストにおけるランク、生育状況等の情報について整備したものです。このGISデータは、原典項目に示すJ-I-B-I-Sのページから絶滅危惧種分布情報のCSVデータをダウンロードし、この情報と2次メッシュデータを用いて、GISデータ化したものです。		
41		特定植物群落	環境省第2回・第3回・第5回自然環境保全基礎調査の「特定植物群落」について、丸秘区分が「位置情報公開」のものを選り、位置 (点、面)、名称、所在都道府県名、選定回次、選定基準等の情報を整備したものです。	○	
42		巨樹・巨木林	環境省第4回・第6回自然環境保全基礎調査の巨樹・巨木林調査にて確認された巨樹・巨木林の位置情報をGISデータとして整備したものです。地上から1.3mの高さで幹周りが3m以上の木を調査対象とし、幹周り3m以上に育ちにくい樹種 (ツバキ、マユミなど) については、3m未満でも調査対象としています。	○	
43		現存植生図 (縮尺 1/2.5万)	環境省による第6回・第7回自然環境保全基礎調査 (植生調査) に基づき整備された1/2万5千の現存植生図がGISデータ化されたものです。植物群落の分布範囲 (面)、調査年次、植生区分、植生区分名、大区分名、中区分名、細区分名、統一凡例名等が示されています。なお、1/2万5千の現存植生図は、全国整備を目指して整備が進められています。	○	
44		現存植生図 (縮尺 1/2.5万) 整備済みメッシュ	環境省による第6回・第7回自然環境保全基礎調査 (植生調査) に基づき整備された1/2万5千の現存植生図GISデータの整備状況を示したものです。	○	
45		現存植生図 (縮尺 1/5万)	環境省による第2回～第5回自然環境保全基礎調査 (植生調査) に基づき整備された1/5万の現存植生図がGISデータ化されたものです。植物群落の分布位置 (面)、群落名、集約群落名、植生自然度、植生クラス域の区分等を示しています。	○	
46		植生自然度図	環境省による第2回～第5回自然環境保全基礎調査 (植生調査) に基づき整備された1/5万の現存植生図のGISデータを使用して、植生自然度 (1～10) 別の区分を表示したものです。	○	
47		植生自然度図 (自然度 9、10)	環境省による第2回～第5回自然環境保全基礎調査 (植生調査) に基づき整備された1/5万現存植生図のGISデータを使用して、10段階の植生自然度のうち、「自然度9 (自然林)」、「自然度10 (自然草原)」の区分を表示したものです。	○	
48		景観及び人と自然との触れ合いの活動の場の状況	自然景観資源	環境省 (環境庁) 第3回自然環境保全基礎調査 (自然環境情報図) (昭和61～62年) のうち、自然景観の基盤 (骨格) を成す地形、地質及び自然景観として認識される自然現象の位置及び特性に関する情報 (自然景観資源) について、国土交通省国土政策局がGISデータ化したものです。	○
49			観光資源	(財) 日本交通公社が事務局として設置した「観光資源評価委員会」が検討・選定し作成した「観光資源台帳」に掲載されている観光資源のうち、平成22年度及び平成26年度の時点において、評価ランクがB級以上のものについて、国土交通省国土政策局がGISデータ化したものです。各「観光資源」について、位置 (点) (線) (面)、都道府県、資源名称等を示しています。	○
50	国立公園の利用施設計画		自然公園法第7条第1項にもとづき環境大臣が決定する国立公園に関する公園計画のうち、利用施設計画に示される施設的位置、所在地 (都道府県、市区町村)、国立公園名、国立公園地域名、施設の種類、施設計画の最新変更年月日等の情報をG	○	

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			I S データとして整備したものです。利用施設には、車道、歩道、園地、宿舍、避難小屋、駐車場、野営場、集団施設地区、舟遊場等の種類があります。	
51		キャンプ場	観光案内 Web サイトなどの情報を基に、住所から特定したキャンプ場の位置、施設名、住所等の情報を整備したものです。各情報は平成 28 年時点の調査結果に基づきます。	○
52		長距離自然歩道	環境省が計画し、国及び各都道府県で整備を進めている長距離自然歩道について、おおよその位置、都道府県コード、都道府県名、No、自然歩道名、距離 (km) 等の情報を整備したものです。／注：現在は、首都圏自然歩道、四国自然歩道、中国自然歩道、北海道自然歩道、東北自然歩道、東北太平洋岸自然歩道、中部北陸自然歩道、東海自然歩道、近畿自然歩道、九州自然歩道が整備されています。	○
53		海水浴場・潮干狩り場	海水浴場や潮干狩り場について、その代表的な位置や名称等の情報を G I S データとして整備したものです。各情報は、平成 28 年 1 月時点の調査結果に基づきます。	○
54		スカイスポーツ	スカイスポーツ練習場として「グライダー」「ハングライダー・パラグライダー」「熱気球」に関連する「滑空場マップ」や「フライトエリア」等の位置情報を G I S データとして整備したものです。	○
55		天文台	全国に設置されている天文台のうち、天体観測設備を持ち、天体観望会などの公開事業を行っている公開天文台の位置を GIS データとして整備したものです。	○
56		残したい日本の音風景 100 選	環境省「残したい日本の音風景 100 選」に選定された場所のおおよその位置を GIS データとして整備したものです。	○
57	放射性物質の状況	空間線量の測定地点	全国の放射線モニタリングポストの位置を G I S データとして整備したものです。	—

【表示欄備考】○：掲載が望ましい、—：掲載が望ましくない

表 2.1-7 社会的状況 (EADAS 掲載情報)

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
1	土地利用の状況	土地利用の状況土地利用 (平成 21 年度)	全国の土地利用の状況について、3 次メッシュ 1/10 細分区分 (100m メッシュ) 毎に、各利用区分 (田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等) を整備したもので、平成 21 年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○
2	河川、湖沼及び海域の利用並びに地下水の利用の状況	内水面漁業権	漁業法第六条に定義される漁業権うち内水面に係る漁業権の区域を GIS データとして整備したものです。河川に係るものは国土数値情報 (河川)、湖沼に係るものは国土数値情報 (湖沼) のデータを使用しています。また、池に係るものは地理院地図の池の外周を計測しています。	○
3		上水道関連施設	原典の国土数値情報「上水道関連施設データ」をもとに、全国の浄水場 (その他関連施設) の位置情報 (点) と事業主体、事業名所、施設名称、日大最給水量等の属性データを整備したものです。	○
4		名水 100 選	環境省により、昭和 60 年 3 月に全国各地の湧水や河川の中から「名水百選」および、平成 20 年 6 月 5 日に全国各地の湧水、河川、用水、地下水の中から選ばれた「平成の名水百選」にのおおよその位置、No、都道府県コード、都道府県名、名称、ふりがな、所在地、所在地 2、種別、利用状況、水量 (L/日)、	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			故事来歴等の情報を整備したものです。	
5		港湾	港湾法に基づき指定された全国の港湾について、港湾調査規則に基づく甲乙種の種別、港湾法に基づく港湾の種別（国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾等）、港湾名、管理者区分（都道府県、市区町村、港務局等）、政令指定年月日、設立年月日、関係する海事機関（海上保安部、税関、海運局、地方海難審判庁、検疫所、入国管理局等）及び外郭施設延長・係留施設延長の情報等をGISデータとして整備したものです。	○
6		漁港	漁港漁場整備法に基づく漁港について、位置（点）、漁港名、漁港種別、管理者区分（都道府県、市町村等）、関係漁業共同組合、漁港区域等の情報をGISデータとして整備したものです。	○
7		漁業権	漁業法第五十条第一項による告示、漁業権区域図に基づく区画漁業権、定置漁業権、共同漁業権の設定された区域、免許番号などの情報をGISデータとして整備したものです。	○
8	学校、病院 その他の環境の保全 についての配慮が特に必要な施設等	学校	学校教育法に基づく全国の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学及び特別支援学校について、位置、名称、区分、所在地等の情報を示したものです。	○
9		病院、診療所	医療法に基づく全国の病院、診療所について、位置、名称、所在地、診療科目、開設者分類等の情報を示したものです。	○
10		福祉施設	全国の幼稚園、保育所、認定こども園、特別養護老人ホームについて、位置、名称、所在地、管理者区分等の情報を示したものです。	○
11		図書館	図書館法に基づく全国の図書館の位置、各施設の名称、所在地、管理区分等の情報を示したものです。	○
12	廃棄物の状況	産業廃棄物処理施設	全国の代表的な産業廃棄物処理施設について、位置、事業者名、所在地等の情報を整備したものです。	○
13	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（生活環境）	公共用水域類型区分	全国の公共用水域に対して、水域の利用目的、水質汚濁の状況、水質汚濁源の立地状況などを考慮して指定された水域類型を示しています。水域類型は、河川が6類型、湖沼が4類型、海域が3類型に分けられています。	—
14	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（自然）	自然公園区域（国立公園）	自然公園法により定義される自然公園のうち、環境大臣が自然公園法第5条第1項の規定により指定する国立公園について、[特別保護地区]、[第1種特別地域]、[第2種特別地域]、[第3種特別地域]、[普通地域]、[海域公園地区]の地種区分を表示したものです。	○
15		自然公園区域（国定公園）	自然公園法により定義される自然公園のうち、環境大臣が自然公園法第5条第2項の規定により指定する国定公園について、[特別保護地区]、[第1種特別地域]、[第2種特別地域]、[第3種特別地域]、[普通地域]、[海域公園地区]の地種区分を表示したものです。	○
16		自然公園区域（都道府県立自然公園）	自然公園法により定義される自然公園のうち、都道府県知事が自然公園法第7条およびこれに基づく都道府県条例の規定により指定する都道府県立自然公園について、[特別保護地区]、[第1種特別地域]、[第2種特別地域]、[第3種特別地域]、[普通地域]、[海域公園地区]の地種区分を表示したものです。	○
17		自然環境保全	自然環境保全法に基づき、環境大臣が指定する原生自然環境	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
		地域（国指定）	保全地域と自然環境保全地域（普通地区・特別地区・海域特別地区・野生動植物保護地区）の区域及び指定状況の情報を、GIS データとして整備したものです。なお、野生動植物保護地区は特別地区内に重複して指定されています。	
18		自然環境保全地域（都道府県指定）	自然環境保全法及び各都道府県条例に基づき各都道府県知事が指定する自然環境保全地域（普通地区・特別地区・動植物保護地区）の区域及び指定状況の情報を、GIS データとして整備したものです。なお、野生動植物保護地区は特別地区内に重複して指定されています。	○
19		近郊緑地保全区域	首都圏近郊緑地保全法及び近畿圏の保全区域の整備に関する法律で定義される「近郊緑地保全区域」及び「近郊緑地特別保全地区」について、位置（面）、所在地（都道府県、市町村）、名称、計画決定年月日、最新計画変更年月日、原典名等の属性情報を整備したものです。	○
20		鳥獣保護区（国指定）	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づいて指定される鳥獣保護区のうち、環境大臣が指定する国指定鳥獣保護区の区域を示したものです。指定区域、鳥獣保護区名、[希少鳥獣生息地]、[大規模生息地]、[集団繁殖地]、[集団渡来地]の類別（指定区分）、[鳥獣保護区]、[特別保護地区]、[特別保護指定区域]の保護区分、当初指定日、存続期間（区域の設定期間）について示しています。鳥獣保護区内においては、狩猟が認められないほか、特別保護地区内においては、一定の開発行為が規制されます。	○
21		鳥獣保護区（都道府県指定）	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づいて指定される鳥獣保護区のうち、都道府県知事が指定する都道府県指定鳥獣保護区の区域を示したものです。指定区域、鳥獣保護区名、[希少鳥獣生息地]、[大規模生息地]、[集団繁殖地]、[集団渡来地]の類別（指定区分）、[鳥獣保護区]、[特別保護地区]、[特別保護指定区域]の保護区分、当初指定日、存続期間（区域の設定期間）について示しています。鳥獣保護区内においては、狩猟が認められないほか、特別保護地区内においては、一定の開発行為が規制されます。	○
22		ラムサール条約湿地	ラムサール条約では、沼沢地、湿原、泥炭地、陸水域、水深が6メートルを超えない海域、または水田や遊水池等の人工的な水辺環境などまで、幅広く湿地として定義しています。このGISデータは、日本国内のラムサール条約登録について、位置（面）、所在地（都道府県名、市町村名）、名称、登録年月日、登録面積、湿地の特徴、保護の形態等の情報を整備したものです。	○
23		生息地等保護区	種の保存法に基づく「生息地等保護区」について、2次メッシュ位置情報を整備したものです。国内希少野生動植物種に指定されている種のうち、その生息又は生育の状況を勘案して、その国内希少野生動植物種の保存のために重要と認められる区域が生息地等保護区として指定されています。生息地等保護区は、管理地区と監視地区に分けられ、それぞれの地区内では、開発行為等が規制されています。	○
24		保護水面	水産資源保護法第14条により定められた保護水面の区域の位置、都道府県コード、都道府県名、根拠法・規則・条例等、指定者、告示番号、名称、名称（よみかた）、所在地、所在地（よみかた）、設定年月日、保護対象、保護期間、URL、等の情報を整備したものです。ここで表示されている情報は概要であり、経緯度や正確な区域の位置・面積を表していません。また、滋賀県はデータ化していませんので詳細は必要に応じ	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			て各都道府県の所管部署に確認してください。	
25		自然再生事業実施地域	自然再生推進法に基づいて行われる自然再生事業の実施地域について、自然再生事業実施計画及び全体構想に示されている地域の位置、都道府県コード、都道府県名、再生事業地区名、協議会名等の情報を整備したものです。	○
26		世界自然遺産	日本国内の世界自然遺産に登録されている地域について、位置（面）、世界自然遺産名等の情報を整備したものです。平成28年度時点での登録は、知床、白神山地、屋久島、小笠原の4地域となっています。このGISデータは、原典項目に示す既存GISデータを使用して整備しています。	○
27	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（文化財）	国指定文化財等	文化財保護法に基づき、国が指定・登録・選定した文化財等について、位置（点）、名称、文化財種類、指定年月日、所在地名、所有者等の情報を、国宝重要文化財（建造物）、登録有形文化財（建造物）、登録記念物、史跡名勝記念物、重要な文化的景観、重要伝統的建造物群保存地区の文化財種類について、GISデータとして整備したものです。	○
28		都道府県指定文化財	都道府県が文化財保護法第182条第2項の規定に基づき、国指定等の文化財以外の重要な文化財について、その位置を表すデータと名称、種別、所在地等の属性データを整備したものです。整備対象としている文化財種別は、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群、文化財の保存技術です。なお、一部の都道府県指定文化財は、個人情報等の情報公開の観点から非公開とされており、データから除かれています。東京都、奈良県、大分県については、各都県の要請に基づき全て非公開のため、全データが除かれています。	○
29		世界文化遺産	世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）に基づき、我が国の人類共通の宝物として未来の世代に引き継いでいくべき文化財や遺跡について、世界遺産委員会に世界遺産として登録された有形の不動産のうち、その登録された範囲（構成資産および緩衝地帯）を整備したものです。	○
30	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（景観）	景観計画区域	景観法（平成16年法律第110号）における景観行政団体が景観計画で定めた「景観計画区域」（第8条第2項第1号）、及び各景観行政団体が定めた景観計画区域のうち、特徴的な景観を有しているなど、特に良好な景観の形成を図るべきであると、条例等で指定した「景観重点地区」を整備したものです。	○
31		景観地区・準景観地区	「景観地区」とは、市町村が景観法（平成16年法律第110号）第61条第1項により、市街地の良好な景観の形成を図るため都市計画に定めた区域です。また、「準景観地区」とは、市町村が景観法第74条第1項により、都市計画区域及び準都市計画区域外の景観計画区域のうち、景観の保全を図るために定めた区域です。	○
32		景観重要建造物・樹木	「景観重要建造物」とは、景観行政団体が景観法第19条第1項により指定した景観重要建造物について、その位置を点データで整備したものです。また、「景観重要樹木」とは、景観行政団体が景観法第28条第1項により指定した景観重要樹木について、その位置を点データとして整備したものです。	○
33		歴史的風土保存区域	古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（古都法）で定義される「歴史的風土保存区域」及び「歴史的風土特別保存地区」と、明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法（明日香法）で定義される	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			「第1種歴史的風土保存地区」及び「第2種歴史的風土保存地区」について、位置（面）、所在地（都道府県、市町村）、名称、計画決定年月日、最新計画変更年月日、原典名、原典の精度等の属性情報をGISデータとして整備したものです。	
34	環境の保全を目的とする法令等により指定された地域等（土地利用）	国有林	国土利用計画法による土地利用基本計画に基づいて定められた森林地域の細区分である「国有林」について、位置（面）、都道府県名等の情報を、GISデータとして整備したものです。森林法で定義される「国有林」に相当します。	○
35		保安林（国有林、民有林）	国土利用計画法による土地利用基本計画に基づいて定められた森林地域の細区分である「保安林」について、位置（面）、都道府県名等の情報をGISデータとして整備したものです。森林法で定義される保安林の区域に相当し、国有林の保安林も含んでいます。	○
36		保安林（民有林）	森林法で定義される「保安林」のうち、国有林を除いた民有林の区域であり、「都道府県が指定する保安林」の区域を示しています。都道府県から提供があった保安林の区域図またはGISデータを原典に使用して、可能な限り最新の保安林区域の情報をGISデータとして整備したものです。国が所有する山林を都道府県が経営する県営林も含まれています。保安林区域内では、森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されます。	○
37		地域森林計画対象民有林	国土利用計画法による土地利用基本計画に基づいて定められた森林地域における「地域森林計画対象民有林」について、位置（面）、都道府県名等の情報をGISデータとして整備したものです。森林法で定義される「地域森林計画対象民有林」に相当します。	○
38		海岸保全区域	海岸法に基づいて指定される「海岸保全区域」およびその他の海岸線について、位置（線）、所管官庁、海岸保全区域の海岸名及び海岸管理者、河口有無等の情報を表示したものです。	○
39		市街化区域	都市計画法に基づいて決定されている市街化区域の位置、都道府県コード、支庁区分コード、市町村名、年度、主題番号、レイヤ番号、名称、ポリゴン面積(ha)、内外区分等の情報を整備したものです。	○
40		都市計画用途地域	都市計画法に基づいて都市計画決定されている全国の「用途地域」について、位置（面）、行政区域コード、都道府県名、市区町村名、用途地域分類コード、用地地域名、建ぺい率、容積率、総括図作成団体名、総括図作成年等をGISデータとして整備したものです。	○
41		農業地域、農用地区域	土地利用基本計画に基づき指定された農業地域の位置、都道府県コード、支庁区分コード、市町村名、年度、主題番号、レイヤ番号、名称、ポリゴン面積(ha)等の情報を整備したものです。	○
42		その他の事項	土砂災害危険箇所	都道府県が指定する土砂災害危険箇所（土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所）及び雪崩危険箇所について、位置（点、線、面）、危険箇所種別、名称等の情報をGISデータとして整備したものです。
43		行政区域	全国の行政界について、都道府県名、支庁・振興局名、郡・政令都市名、市区町村名、行政区域コード等をGISデータとして整備したものです。	○
44		航空制限区域	空港法に規定されている空港および自衛隊の飛行場を対象として、制限表面のうち水平表面および進入表面に係る情報を整備したものです。一部、計算により作図した情報があります。	○

No.	グループ名	レイヤ名	備考	表示
			す。	
45		航空路レーダー	航空路管制業務に使用されている航空路監視レーダー（ARSR）および洋上航空路監視レーダー（ORSR）の位置を整備したものです。	○
46		自衛隊・米軍基地	陸上自衛隊、航空自衛隊、海上自衛隊および米軍の基地、駐屯地等のおおよそ中心位置の位置情報を整備したものです。	○
47		米軍演習区域	海上保安庁が刊行する「日本近海演習区域一覧図」に記載のある米軍演習区域について整備したものです。	○
48		自衛隊射撃訓練等海上区域	自衛隊が実施する海上における射撃訓練等について区域、管轄、実施の内容等の情報を整備したものです。	○
49		土地利用（平成18年度）	全国の土地利用の状況について、3次メッシュ1/10細分区画（100mメッシュ）毎に、各利用区分（田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等）をGISデータとして整備したもので、平成18年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○
50		土地利用（平成9年度）	全国の土地利用の状況について、3次メッシュ1/10細分区画（100mメッシュ）毎に、各利用区分（田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等）をGISデータとして整備したもので、平成9年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○
51		土地利用（平成3年度）	全国の土地利用の状況について、3次メッシュ1/10細分区画（100mメッシュ）毎に、各利用区分（田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等）をGISデータとして整備したもので、平成3年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○
52		土地利用（昭和62年度）	全国の土地利用の状況について、3次メッシュ1/10細分区画（100mメッシュ）毎に、各利用区分（田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等）をGISデータとして整備したもので、昭和62年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○
53		土地利用（昭和51年度）	全国の土地利用の状況について、3次メッシュ1/10細分区画（100mメッシュ）毎に、各利用区分（田、その他の農用地、森林、荒地、建物用地、幹線交通用地、湖沼、河川等）をGISデータとして整備した、昭和51年度作成の情報です。なお、表示する利用区分は整備年度により異なります。	○

【表示欄備考】 ○：掲載が望ましい、－：掲載が望ましくない

2.2 有効性の検証

2.2.1 試作システムの検証と改修

(1) 検証方法

試作システムの検証は、試作システムを実際に利用してもらい、それに対する意見を収集する方法で実施した。試作システムは次の URL で公開したが、このサイトには、ユーザ/パスワードによる制約をかけ、不特定多数からは閲覧されないように配慮した。

<http://saiene.alandis.jp/RenewableEnergy/>

検証は、初見の利用者として自治体の再エネにかかわる部署に協力を依頼した。協力をいただいた自治体を表 2.2-1 に、評価の視点を表 2.2-2 に示した。

表 2.2-1 有効性の検証に参画した自治体の一覧

自治体名	備考
長崎県西海	ゾーニング事業を実施
長崎県新上五島町	ゾーニング事業を実施
長崎県新五島市	浮体洋上の実証地、再エネ部門がある
佐賀県	洋上風力検討を予定
岩手県	再エネマップの部署
千葉県銚子市	再生可能エネルギーの導入量が多い

表 2.2-2 各ページに対する評価の視点

チェック項目	該当ページ	評価の視点
全体構成	全ページ	<ul style="list-style-type: none"> レイアウトの見易さ 文字やアイコンのサイズバランス サイトの色合い・雰囲気
目的・概要等	<ul style="list-style-type: none"> トップページ はじめに 	<ul style="list-style-type: none"> 何を目的としたサイトか一目でわかるか 各エネルギーのアイコンから各エネルギーを想定できるか 本サイトの目的と概要の内容がわかりやすいか データ取扱いの説明に分かりにくい点はないか
用語の解説	用語の解説	<ul style="list-style-type: none"> 解説が難しくないか 追加すべき用語はないか
説明内容	エネルギー種別情報－(各エネルギー) 概要とデータの利活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 各エネルギーに関する概要とデータの利活用方法の説明はわかりやすいか 各エネルギーの結果グラフが示す内容は容易に把握できたか
データへのアクセス、ダウンロード	公開データ(ポテンシャルマップ、資源量、ゾーニング)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の都道府県のGISデータまでに容易に辿りつけたか 自分の市区町村の数値データまで容易に辿りつけたか 自分の市区町村の風配図データ・地下温度構造データに辿りつけたか
データのわかりやすさ	GIS画面	<ul style="list-style-type: none"> GISが容易に利用できたか GISでできることが一目で把握できたか GISの各データは見易かったか 印刷はしやすかったか GISに追加すべきと思える情報はないか
ページの移動	全ページ	<ul style="list-style-type: none"> 目的のページに容易に移動できたか
その他	－	<ul style="list-style-type: none"> 追加すべきページはないか 誤解を招く情報等はなかったか このサイトで、どのような情報を得たいと考えるか(利用目的など)
情報・分析ツール	地域再エネ情報－導入実績・自治体情報	<ul style="list-style-type: none"> どのような情報取得ツールがあると便利か

(2) 実施期間

検証を行った期間を、表 2.2-3 に示した。

表 2.2-3 実施期間

時期	内容
2月21日～3月6日	試作サイトの試用と評価
2月26日～3月7日	評価に対するレビューと対応案作成
3月8日～3月16日	対策の実施と課題の整理

(3) 結果と対応案

収集した意見をチェック項目ごとにまとめ、それぞれの意見に対する対応案を表 2.2-4 に示した。対応案については、今年度中に対応可能なものは対応した。

表 2.2-4 寄せられた意見と対応案

チェック項目	意見	対応案
全体構成	文字サイズの変更機能、多言語変換機能など環境省HPを参考にされてはどうか。	多言語ニーズを等検討し、次年度以降に対応を判断する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「太陽光」の「地図」の色分けが若干見づらく感じた。 ・ページ上部のコンテンツ名（「ホーム」、「はじめに」、「エネルギー種別情報」…）が等間隔に表示されていないのが気になる。 	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、色調・配置等を確認し修正する。
	「エネルギー種別情報」→「概要とデータ活用方法（地図）」等のページにおいて、右側に表示されている灰色の枠で囲まれた部分は、スクロールした時に付いてくるようにした方が便利かと思いません。	指摘のとおり次年度以降に対応する。
	グリーンを基調とするならば、風力発電はグリーン以外で表示したほうが良い。	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、全体の色調のバランスを見て判断する。
	地熱・地中熱は色を変えた方が見易い	同上
	レイアウトについて、ホーム→風力と押した後、地図にたどり着きにくい。データの利活用方法の隣に地図のアイコンを作してほしい。	地図へのリンクを設置した。
目的・概要等	データ取り扱い上の留意点では、「導入ポテンシャル情報は、(略)、地域単位での推計や具体的な地点の特定等には必ずしも適したものではありません。」とありますが、その例を複数示してはどうか。	具体例を示すことは困難であるため、説明文をわかりやすいよう修正した。
	「地域関係者が主体となった事業化」の地域関係者とは何をイメージしているのか不明（行政でしょうか）	目的と概要の文言に、想定している“地域関係者”を記載した。
	サイトの目的や、アイコン、概要は分かりやすいが、データ出典元が何であるかがわかりにくい。	データのプロパティに出典を記載した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの文字が若干小さく感じる。 ・アイコンのみを見た場合、「太陽光」が若干わかりづらい。 ・「本サイトの目的と概要」及び「データの取り扱い上の留意点」の内容はわかりやすい。ただ、レイアウト的に若干見づらいたったため、コ 	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、色調・配置等を確認し修正する。

チェック項目	意見	対応案
	コンテンツ名（■エネルギー種別情報）と文章の色を変更するなど工夫した方が良い。	
	「本サイトの目的と概要」内のコンテンツ名と、ページ上部のコンテンツ名（緑の枠内）が一部異なっているため、合わせた方が良い。 (例：データダウンロード→ダウンロード)	ご指摘のとおり対応した。
用語の解説	環境省で一般的に使用されている内容、又はそれを平易にした内容とされてはどうか。	導入ポテンシャルに関する概略を取りまとめた概略資料へのリンクを行う。
	自治体職員の場合、簡単な用語でもわからないことが多々ある。「ゾーニング」など、比較的一般的な用語であっても追加していただけると助かる。	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、一般的な用語であっても掲載するようにする。
説明内容	開発不可条件とはどのようなものか。	導入ポテンシャルに関する概略を取りまとめた概略資料へのリンクを行う。
	・風力、中小水力などで「開発不可条件に該当するエリアを控除する」とありますが、開発不可条件に該当するエリアは示されるのか。 ・再生可能エネルギー情報提供システムは事業化を後押しする情報・分析ツールの提供を目的としていますので、「開発不可条件に該当するエリア」（保全エリア）の情報は、事業化の検討に有効ではないかと思います。	ご指摘のとおり認識している。開発不可条件に該当するエリアの表示は次年度以降の検討課題とする。
	結果概要の陸上風力のポテンシャル推計について、都道府県比較の際、北海道が多すぎて他の都道府県の状況を比較しづらい。北海道を途中省略するなどの工夫があると良い。	北海道は4区分（道央、道東、道北、道南）とする。
	個別データ選択時に、風速毎の設備容量が別窓で表示されるが、単位と小計まで表示して欲しい。	ご指摘のとおり対応した。
	「太陽光のポテンシャル推計について」内に記載の「レベル」をどのように使用しているのかわからない。	導入ポテンシャルに関する概略を取りまとめた概略資料へのリンクを行う。
	グラフ内の文字が小さいため、多少見づらく感じました。	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、全体バランスを踏まえ修正する。
データへのアクセス、ダウンロード	はじめての操作であったこともあり、容易には辿りつけなかった。	・GIS画面上部に、簡易操作方法を記載した。 ・機能ボタンにポップアップで簡易操作方法を表示した。

チェック項目	意見	対応案
	風力レイヤの表示項目数が多くなると、凡例の説明スペースが、地図と同時に見られなくなる。地図と凡例を同時に見られるほうが使い勝手が良い。	スクロールバーをつけるようにする。
	導入実績・自治体情報：地図の色分けが同系色のため分かりにくい。	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、色調・配置等を確認し修正する。
	レイヤ情報について、出典も同時に知りたい。	同時表記が望ましいと考えるが、現時点では出典をプロパティに表示することで対応した。
	ダウンロードの欄からは各データへのアクセス自体がしにくい。	再エネ情報提供システム作成の最終段階において、改めてアクセス方法を見直すこととする。
	・「自治体別情報」からであれば都道府県及び市区町村ともに容易にたどり着くことができた。 ・「ダウンロード」から自分の市区町村の風配図データ・地下温度構造データには容易に辿りつくことができた。	－
データのわかりやすさ	・はじめての操作であったこともあり、GISが容易には利用できなかった。 ・GISは直感的な操作が可能のため容易に利用することができ、また、様々な条件を付すことができるため、非常に便利なツールであると感じた。	・GIS画面上部に、簡易操作方法を記載した。 ・機能ボタンにポップアップで簡易操作方法を表示した。
	データ元の把握がしにくい。	出典をプロパティに表示した。
	データのレイアウト上、コウモリの生息環境などを図示されているのは有難いが、風況ポテンシャルに表示の際、隠れてしまっている。風況マップの上に各種情報が表示されるようにしてほしい。	ツリーの表示順と、GISでの重ね順を別に設定可能にした。
	印刷時にページが2ページに分かれてしまったため、1ページで収まるように変更した方が良い。	提供するデータに凡例が多く、地図とともに1ページに表示すると表示しきれない凡例が多数発生するため、「凡例と地図は別ページで出力」での対応とした。
	導入実績として、地図上に再生可能エネルギー発電設備の位置が表示されるとより利便性が向上する。	今後の検討課題とする。
	－	－
ページの移動	操作する目的がはっきりしていれば、容易に移動可能である。	－
	「はじめに」で、『用語の解説』『過去のお知らせ』『ご意見・お問合せ』の項目もはじめから表示してあるほうが良い。	ページが長くなりすぎるため、本年度は現行のままとする。

チェック項目	意見	対応案
	ページ上部のコンテンツ名がわかりやすく、また、常に表示されているため、目的のページまで容易に移動することができた。	—
その他	環境省の委託事業のため、HPの最後に表示される問合せ先などは環境省HPを参考にしてはどうか。	再エネに特化したサイトのため、専用の受付窓口を示す。
	情報が多岐に及んでいるので、経済産業省HP等のリンクが必要ではないか	必要なコンテンツやリンクについて、今後の検討課題とする。
	アセス手続きの情報が分かると事業化の際の参考になるのではないか。	同上
	各種エネルギーの導入にあたり想定される悪影響や地域との共生のあり方について情報を示してはどうか。	同上
	再生可能エネルギー発電設備の導入ポテンシャルの高い場所の把握や他市町村・都道府県の導入実績（詳細事例）、許認可等の法令関係等に関する情報を得るために利用したいと思える。	—
情報・分析ツール	各自治体が把握できていない再エネ施設も数多くあると思いますが、導入実績などが分かるようなツールがあれば便利である。	今後の検討課題とする。
	色んな分野のデータ元など問い合わせ先があれば便利である。	同上
	コウモリや野鳥など、生息域の確認には専門家の意見が必要になるため、専門家や情報の出展元一覧などの提供があれば便利である。	同上
	導入実績として、地図上に再生可能エネルギー発電設備の位置が表示されるとより利便性が向上すると思います。	同上

2.2.2 オープンデータの評価

(1) 技術的指標による評価

再エネ情報提供システムから提供を予定するデータに対して、オープンデータとしての技術的な段階を評価した。過年度までに公開していたデータに対する評価を踏まえ、データ形式の変換等により評価の向上が可能なデータはそれぞれ対応を行い、改めて今年度に公開するデータ形式に対する評価を行った。オープンデータの5つの段階について表2.2-5、オープンデータの導入ポテンシャルに関するデータを表2.2-6、資源量に関するデータを表2.2-7、ゾーニング基礎情報に関するデータを表2.2-8に示した。

表 2.2-5 オープンデータの5つの段階

	段階	説明
人が理解するための公開文書 (編集不可)	1段階	オープンライセンスとしてデータを公開している状態のもの。PDFやJPEG等、人間が目で見えて理解できるが、編集が不可能なもの。
	2段階	1段階に加え、Microsoft Excel のXLS形式や、Microsoft WordのDOC形式等、コンピュータでデータ処理が可能となったもの。
公開文書 (編集可)	3段階	2段階に加え、XMLやCSV等、アプリケーションに依存しないオープンなフォーマットで公開している状態のもの。
	4段階	URI等でリソースをユニーク化し、RDFやXMLといったWeb標準のフォーマットでデータを公開している状態のもの。
機械判読可能な公開データ	5段階	4段階が外部連携され、データ間の融合情報が規定され検索可能な状態のもの。LOD、RDFスキーマ等。

表 2.2-6 導入ポテンシャルに関するオープンデータの段階

種類		データ				備考
		過年度		今年度		
		形式	段階	形式	段階	
太陽光	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
風力	地図情報	EsriGrid	1	shape	3	特定ソフト用のラスタ形式から、解析可能な汎用形式に変更
	属性情報	EsriGrid	2	dbf	3	
中小水力	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
地熱	地図情報	EsriGrid	1	shape	3	特定ソフト用のラスタ形式から、解析可能な汎用形式に変更
	属性情報	EsriGrid	2	dbf	3	
地中熱	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
太陽熱	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
導入ポテンシャル地域別集計表	—	pdf	1	csv	3	

表 2.2-7 資源量データに関するオープンデータの段階

種類		データ				備考
		過年度		今年度		
		形式	段階	形式	段階	
地域別日射量 情報	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
地熱温度分布 図	地図情報	EsriGrid	1	shape	3	特定ソフト用形式のラ スタから、解析可能な汎 用形式に変更
	属性情報	EsriGrid	2	dbf	3	
地熱温度構造	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
日本温泉・高専 分布位置	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
風況マップ	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
熱需要マップ	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
採熱率マップ	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット

表 2.2-8 ゾーニング基礎情報データに関するオープンデータ評価

種類		データ				備考
		過年度		今年度		
		形式	段階	形式	段階	
水文環境図	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
全国工業用地下水賦存量分布図	地図情報	GeoTIFF	1	—	—	
堆積物の地層境界面と層厚の三次元モデル	地図情報			—	—	
	属性情報	shape	3	—	—	
全国地下水位推定	地図情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
	属性情報	shape	3	—	—	
全国の地盤沈下地域の概況	地図情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
	属性情報			—	—	
工業用水法	地図情報	PDF	1	—	—	環境省内別サイト
	属性情報			—	—	
地下水採取規制の地域指定区域	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
揚水規制等の条例	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
地盤沈下防止等対策要綱	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
大深度地下使用法の対策地域	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
大深度地下マップ	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
地下水採取規制の地域指定区域	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
水文環境図	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット
全国工業用地下水賦存量分布図	地図情報	shape	3	—	—	
	属性情報	dbf	3	—	—	地図情報とセット

(2) オープンデータの利用ルール

政府のオープンデータの取り組みの一つとして、各府省ウェブサイトの新たな利用規約のひな形となる「政府標準利用規約（第2.0版）」が定められている。これに基づき、環境省では「オープンデータ化への取組」を進めている（<http://www.env.go.jp/kanbo/koho/opendata.html>）。本取組は環境省ホームページ（<http://www.env.go.jp/>）で公開しているコンテンツについての定めではあるが、本情報提供サイトで公開するコンテンツについてもこれに準ずることが望ましい。データ利用者が従うべき主な内容を以下に示した。

- ・ 出典を記載すること
- ・ 編集、加工して利用する場合はその旨を記載すること
- ・ 第三者の権利を侵害しないこと
- ・ データ利用による一切の行為について、国は責任を負わないこと
- ・ クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 4.0 (CC BY) ※1 に従うことでも利用できること

※1: クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>) に規定される著作権利用許諾条件

2.3 本格運用に向けた課題の整理

2.3.1 運用における課題

EADAS が保持している基盤（サーバ、OS、共有ミドルウェア等）を利用した WebGIS のデータ管理を想定すると、システム基盤や EADAS 基盤を共有して利用することになる。これらを運用している業者との連携が必要であり、それぞれの役割を明確にする必要がある。運用において想定される役割分担を表 2.3-1 に整理した。

表 2.3-1 運用において想定される役割分担表

項目	EADAS 運用業者	再エネ情報提供 サイト運用業者
システム基盤のハードウェア管理（故障対応等）	○	×
システム基盤のソフトウェア管理	○	×
OS 管理（セキュリティパッチ含む）	○	×
EADAS のデータ搭載検討	○	×
EADAS のデータ管理（データ追加・変更など）	○	×
再エネ情報のデータ搭載検討	×	○
再エネ情報のデータ管理（データ追加・変更など）	○	×
EADAS 搭載情報のうち、再エネ情報提供サイトで閲覧する項目に関する検討	×	○
再エネ情報提供サイト搭載情報のうち、EADAS で閲覧する項目に関する検討	○	×
EADAS の改修	○	×
再エネ情報提供サイトの改修	×	○
再エネ情報提供サイトへの問合せ	×	○

2.3.2 機能の課題

本年度の試作システムでは、EADAS 基盤を利用することを想定し、利用者が再エネ情報を取得するために操作する GIS のユーザインターフェースを主に作成した。今後実運用に向けて、再エネ情報提供システムに必要な機能のうち、EADAS が現在保有する機能だけでは実現が難しい機能と、今後の対策案を表 2.3-2 に示した。

表 2.3-2 再エネ情報提供システムに必要となる機能

機能名称	概要	対策案
GIS 情報の提供 (ダウンロード)	GIS データをダウンロードして解析用 GIS で扱えるようにする。EADAS に搭載している全国データは別途原典保有者がいるため、ダウンロード機能はない。	再エネ提供サイト独自に、ダウンロード可能なデータを準備する。
自治体情報の提供 (閲覧)	自治体個別の情報(導入実績、各種施策等)を GIS 上で表示する。	EADAS の改修により、データを搭載することもできるが、他データに埋没する恐れがあるため、試作した機能をさらに充実させることが望ましい。
自治体情報の取得 (ダウンロード)	自治体個別の情報をダウンロードして、解析用 GIS で扱えるようにする。	再エネ提供サイト独自に、ダウンロード可能なデータを準備する。
地域分析ツール	中小水力のポテンシャル解析ツールのような、各種分析ツール。	再エネ提供サイト独自に、GIS 上で利用可能な分析ツールを充実させる。
レイヤ情報取得機能	外部から、EADAS が保有するレイヤ情報を取得する機能。レイヤの表示制御やなどに必要となる。	EADAS 基盤を共通利用しているため、レイヤ情報を共通して管理できるよう検討する。